

小学校用
われらクリーン調査隊

ガイドー式



目 次

全体の概要	3
授業 1 どうしてそうじをするのだろう (45分)	6
低学年用	6
中・高学年用	10
授業 2 そうじ用具を正しく使おう (45分)	15
授業 3 学校そうじの正しい手順を知ろう (45分)	20
授業 4 身近にあるものを使ってそうじをしよう (45分)	26
授業 5 よごれにあったそうじの方法を調べよう (45分)	31
授業 6 学校そうじの合格基準を作ろう (90分推奨)	36
授業 7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう (45分)	43
発 展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう (90分)	47

われらクリーン調査隊

小学校対象 / 生活科・家庭科・総合的な学習の時間 / 1 時間(45 分) × 7 授業
※各授業は原則 45 分で完結していますが、2 時間連続での実施を推奨している授業もあります

●授業の概要

われらクリーン調査隊は、掃除について楽しく学び、学校・家庭生活に活かすダスキンオリジナルカリキュラムです。効果的な掃除の指導法を教えてほしいという先生方の声を受け、現職の先生方の力をお借りして開発いたしました。カリキュラムは、学級活動で取り組めるよう、各授業が 1 時間(45 分)で完結するように作成されています(授業 6・発展授業のみ 2 時間(90 分)をお勧めしています)。

カリキュラムは、

- ☑【基礎・基本編】授業 1～授業 5
- ☑【応用編】授業 6～授業 7
- ☑【発展編】発展授業

の 3 段階 8 授業で構成されています。各授業における対象学年を設定していますが、学校やクラス・児童の状況に応じてアレンジして、実施いただくことも可能です。

また全授業ともに、学校の毎日の掃除時間と連動させることで、学習した内容を継続的に実践・応用されることをお薦めします。

●学習指導要領での位置づけ

【生活科】

目標 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。

内容 公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

【家庭科】

目標 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。

内容 住まい方に関心をもって、整理・整頓(せいとん)や清掃の仕方が分かり工夫できること。

【総合的な学習の目標】

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

●授業の構成

基礎・基本編

応用編

発展編

授業 1 どうしてそうじをするのだろう(45分) 【対象:全学年】

掃除に対して日ごろどのような思いで取り組んでいるかなどを振り返らせ、掃除をしなかったらどうなるかを想像したり、実際に教材を確認したりしながら、掃除の必要性について探っていく。

※低学年向け授業案・教材と、中・高学年向け授業案・教材を用意しています。

授業 2 そうじ用具を正しく使おう(45分) 【対象:全学年】

掃除用具の正しい使い方について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除用具に対する理解を深め、掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※ぞうきん・ホウキ(チリトリ)・掃除機・モップについて学習できます。

授業 3 学校そうじの正しい手順を知ろう(45分) 【対象:全学年】

掃除の正しい手順について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除手順に対する理解を深め、これからの掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※黒板の拭き方、窓の拭き方、階段の掃き方、廊下の掃き方、トイレ掃除について学習できます。

授業 4 身近にあるものを使ってそうじをしよう(45分)【対象:全学年】

学校にはどのような汚れがあるかを確認した上で、汚れに対して効果的な掃除方法、身近なものを掃除用具として活用できることに気づき、実際に効果を感じることで今後の活動への意欲を持たせる。

授業 5 よごれにあったそうじの方法を調べよう(45分) 【対象:中・高学年】

実習を通して、汚れにあった掃除方法、用具を正しく選択することの大切さに気づく。また、汚れにあった掃除方法を考え、正しい方法を知ることで、これからの生活に活かしていこうという意欲を持たせる。

授業 6 学校そうじの合格基準を作ろう(90分推奨) 【対象:高学年】

学校をいつもきれいにするには、どうすればよいかを考え、誰もが理解できる学校掃除の合格基準を作成する。担当場所の合格の状態をデジタルカメラで撮影し、合格基準を保つためにはどのような掃除をしたらよいか、掃除の手順を見直し、考える。

授業 7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう(45分) 【対象:中・高学年】

家庭や学校などの身近な掃除から、それ以外の場所の掃除やプロの掃除まで掃除に対する児童の意識を広げる。そして、快適な生活を保つために、地域の人や掃除のプロが、常に努力をしていることに気づかせ、社会での掃除の必要性を理解させる。

発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう(90分) 【対象:高学年】

掃除の大切さや掃除用具の正しい使い方、手順をふりかえり、他の学年に伝えることで、掃除に対する理解を深め、毎日の掃除時間への応用につなげる。

※【基礎・基本編】の学習後に実施いただくと効果的です。

※きょうだい学級など、高学年が低学年の掃除を手伝うときにご活用いただけます。

●授業のねらい

学習項目	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断・ 創意工夫	技能・表現
授業1 どうしてそうじをするのだろう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除の大切さ、必要性がわかる ➤ 生活していると自然に出る汚れと人間が出す汚れに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除に関心を持ち、汚れや掃除をすることに興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除をしなければどうなるのかを考える 	
授業2 そうじ用具を正しく使おう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 効果的な掃除用具の使い方がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ ➤ 学習したことを家庭での手伝いとして実施してみようという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除用具の効果的な使い方と、効果的な理由を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 効果的な掃除用具の使い方を習得し、掃除時間などで実践できる
授業3 学校そうじの正しい手順を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 効果的な掃除の手順がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 効果的な掃除手順と効果的な理由を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 効果的な掃除の手順を習得し、掃除時間などで実践できる
授業4 身近にあるものを使ってそうじをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 身近なものを工夫することで、効果的な掃除用具になることがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ どのようなものが掃除用具になるか考える ➤ 身近なものが掃除用具として、どのように活用できるかを考える 	
授業5 よごれに合ったそうじの方法を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 汚れの種類によって掃除の仕方や掃除用具を工夫することがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 汚れに合った掃除の仕方はどのようなものか考える ➤ 汚れに合った掃除用具や掃除方法はどのようなものか考える 	
授業6 学校そうじの合格基準を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 合格基準とは何かがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ みんなが快適に過ごせる環境づくりに関心を持つ ➤ 合格基準をつくってみようという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ みんなが快適に過ごせる、きれいな学校にするにはどうしたらいいかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 見る人を意識した撮影ができる ➤ 気づいたことをワークシートにまとめられる
授業7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ なぜ掃除のプロが求められているのかがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 快適に生活するために、今後の掃除に対しても、意欲的な姿勢を示す 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除のプロの話を知った上で、掃除にはどのような意義があるか考える 	
発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 要点をまとめて整理する 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 他の学年に掃除の大切さや必要性を伝えようという意欲を持つ ➤ グループで協力して活動しようとする態度を示す 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 相手にわかりやすく伝えるためには、どのようなことに気をつけなければならないかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 相手にわかりやすく伝えることを意識して伝える

授業1 どうしてそうじをするのだろう

【対象：低学年】

掃除に対して日ごろどのような思いで取り組んでいるかを振り返らせ、掃除をしなかったらどうなるかを想像しながら、掃除の必要性について探っていきます。

※「どうしてそうじをするのだろう」は、掃除の学習において、全ての児童に考えてもらいたいテーマとなっています。そのため、内容は同じですが児童の発達段階に応じて、低学年用と、中・高学年用の2つの授業をご用意しています。

<低学年用>

進行概要

	min	概要
導入	5	掃除に対して日頃どのような態度や気持ちかを確認し、どうして掃除をするのかを考える
展開 ①	15	教室の汚れ見つけ ゲーム感覚で楽しく汚れを見つけ、どんな汚れが多いかを知り、自分たちが日頃どれだけ汚れに無関心だったかに気づく
" ②	10	どうして掃除をするのかを考える ・掃除をしなかったらどうなるかを考え、掃除をすると気持ちがよいこと、物がながもちすることに気づく
" ③	10	・汚れをそのままにしておくことで、健康に影響することに気づく
まとめ	5	掃除をする意味を確認し、毎日行う掃除への意欲向上につなげる

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 (どうしてそうじをするのだろう)	Microsoft® PowerPoint®	13 画面	教室にどんな汚れがあるかを知り、掃除をしなかったらどうなるかを考える教材	教師
②	ワークシート (どうしてそうじをするのだろう)	Microsoft® Word (A4 サイズ)	1枚	学習した内容を書き留めるワークシート	児童

準備物

配付資料: ・ワークシート

機 材 : ・PC (スライド教材の準備)
・スクリーン
・プロジェクター

低学年用 「どうしてそうじをするのだろう」授業進行ガイド

	使用教材	流れ
導入 5分		<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童に日ごろの掃除に対する態度や気持ちを確認する ●授業の見通しをもたせる <p>進行・教師の投げかけ</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除が好きな人？ ・普段いろいろな場所の掃除をしていると思いますが、どんな気持ちで掃除をしていますか？ 今日はどうして掃除をするのかについて、いっしょに考えていきましょう。
展開① 15分		<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ゲーム感覚で楽しく汚れを見つけ、どんな汚れが多いかを知り、自分たちが日頃どれだけ汚れに無関心だったかに気づかせる ●教室にはどんな汚れがあるかを見る <p>進行・教師の投げかけ</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室をぐるっと見渡してください。どこにどんな汚れがあるでしょう。今日はゲームをしながら、どんな汚れがあるのかを確認めます。どれだけ見つけられるでしょう。今から5分です。ヨーイドン！ <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室を自由に見せ、ゲーム感覚で、教室のどこに、どんな汚れがいるかを発見させる。 <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな汚れがありましたか？ ※児童の発言を、黒板に板書する。または、その汚れがどこにあるのかを聞き、他の児童と共有させる。 ※教室のすみやドアのレールの上などの気づきにくいところにもホコリや汚れもあることを認識させる。
展開② 10分		<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●掃除がどうして必要なのかを考え、掃除をすると気持ちがいいという気づきにつなげる <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(「きれいな教室」のイラストを見せ)掃除をしないで放っておくとどうなると思いますか。 ※「汚くなる」「ホコリがたまる」等の答えを導く ・(「汚い教室」のイラストを見せ)こんな部屋にいたいですか？ ※「いや」「いたくない」等の答えを導く ・ではなぜ汚い部屋にいたくないのでしょうか？ ※「気持ち悪いから」の答えを導く ※「病気になるそう」などの発言をした児童も大いに褒めてあげるようにする。 <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな部屋にいる方が「気持ちいい」ですね、気持ちがいい部屋にするには掃除が大切です。 ※ワークシートに「かいてき きもちよくすごすため」と記入させる 薄く見本の文字を書いています <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気扇があります。掃除をしないで使い続けるとどうなると思いますか。どんな気持ちになりますか？ <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この換気扇は、掃除をしないで使い続けたので、こんなふうになってしまいました。掃除をしないでほうっておくと、物が使えなくなってしまうこともあります。いつもきれいにしておくことで、物を長持ちさせることができますね。 <p>※ワークシートに「ながもち ものをながくつかうため」と記入させる</p>

<p>展開③ 10分</p>		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●汚れをそのままにしておくことで、健康に影響することに気づく</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目には見えない汚れがあること、知っていますか。 ※空気中にも漂っていることを伝える <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目に見えない汚れには、こんなものがあります。空気中に漂うホコリの中にはバイキンやカビ、花粉やダニがいるのです。 バイキンやカビや花粉やダニは、きちんと掃除をしていると人間に影響はないけど、まったく掃除をせずにホコリがたまったまま放っておくと、たくさん出てくるのですよ。 ※繁殖したバイキンやカビ、花粉やダニが人の体に入ると体調を崩す可能性があることを説明する <p>・掃除をしなかったら、体が疲れたり弱ったりしている場合、病気になってしまうことがあります。掃除は、みんなが元気に過ごすために必要なですね。</p> <p>ワークシート1に「けんこう げんきにすごすため」と記入させる</p>
<p>まとめ 5分</p>		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●掃除をする意味を確認し、毎日行う掃除への意欲向上につなげる</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日勉強したことで、どうして掃除が大切かわかりましたか？ <p>掃除は、みんなが気持ちよく過ごしたり、元気で過ごしたりするため、そして物を長持ちさせるためにはとても大切だということを勉強しました。みんなは自分たちの教室を自分たちできれいに掃除をしていますね。みんなの教室をいつもきれいにし、気持ちよく、元気に過ごすようにしましょう。</p> <p>※必要であれば「かいてき」「なかもち」「けんこう」というキーワードをみんなで声を出して読み上げる。</p>

どうしてそうじをするのだろう？

() ねん () くみ
なまえ ()



そうじをするたいせつな3つのいみ

・書きやすいように
薄く見本の文字を書いて
います。

きれいなきょうしつ

かいてき
きもちよく
すごすため

けんこう
げんきに
すごすため

ながもち
ものをながく
つかうため

これからのそうじを
がんばろうね！



授業1 どうしてそうじをするのだろう

【対象：中・高学年】

掃除に対して日ごろどのような思いで取り組んでいるかを振り返らせ、掃除をしなかったらどうなるかを想像しながら、掃除の必要性について探っていきます。

※「どうしてそうじをするのだろう」は、掃除の学習において、全ての児童に考えてもらいたいテーマとなっています。そのため、内容は同じですが児童の発達段階に応じて、低学年用と、中・高学年用の2つの授業をご用意しています。

<中・高学年用>

進行概要

	min	概要
導入	5	本日の授業について
展開①	10	どうして掃除をするのかを考える ①汚れの原因と正体を考える
②	10	②汚れを放っておくことによる様々な影響を考える
実習	15	机みがきチャレンジ 「いかに汚れに気づいていないか」に気づかせ、生活の中での汚れ＝掃除の必要性に対する意識を持たせる
まとめ	5	本日の振り返り

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 (どうしてそうじをするのだろう)	Microsoft® PowerPoint®	12画面	掃除がなぜ必要なのか、人間の暮らしにどのような影響を与えるのかなど、汚れや掃除に興味を抱ききっかけとなる教材	教師
②	ワークシート (どうしてそうじをするのだろう)	Microsoft® Word® (A4サイズ)	1枚	学習した内容を書き留めるワークシート	児童

準備物

- 配付資料： ・ワークシート
- 機材： ・PC(スライド教材の準備)
・スクリーン
・プロジェクター

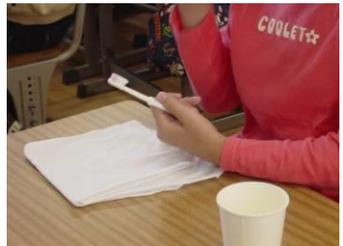
中・高学年用 「どうしてそうじをするのだろう」授業進行ガイド

進行用スライド		流れ	
導入 5分		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●児童に日ごろの掃除に対する態度や気持ちを確認する ●活動の目的を明確にし、見通しを持たせる
		進行・教師の投げかけ	<p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除が好きな人？ ・いつも一生懸命やっていて掃除に自信がある人？ ・どうして掃除をするのか、考えたことがある人？ <p>※掃除に対してどのような意識や関心を持っているか、楽しく確認する</p> <p>【説明】</p> <p>掃除が好きな人も、そうでない人も、掃除に自信がある人もない人もいますが、今日は、「どうして掃除をするのか」について考えてみましょう。</p>
展開① 10分		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●掃除の必要性を認識する
		進行・教師の投げかけ	<p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずはみんなで考えてみましょう。学校の掃除は必要だと思いますか？ ・家の掃除は必要？ <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や学校の掃除は必要だと思う人はたくさんいますね。 <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・では、どんなときに掃除が必要だと思いますか？ <p>※「汚くなったとき」「人が来るとき」等の答えを導く</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れにはどんなものがあるのか見てみましょう。
		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●汚れには「気をつければ防げる汚れ」と、「生活で出る汚れ」があることに気づかせる
		進行・教師の投げかけ	<p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここにあるのはそれぞれどんな汚れでしょう？ <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・らくがきはクレヨン、汚れはみんなが出した紙くずなどですね。換気扇は油がついていて、洗面器はぬるぬるした水アカや黒いカビなどですね。 <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここにある4つの汚れは大きく二つに分けることができますが、どんな分け方ができると思いますか？ <p>※左側の絵と右側の絵は、どんな風にして汚れるかに注目させる</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左側のらくがきや汚れはみんなが気をつければ防げる汚れですね。 ・右側の汚れは、生活していると出る汚れですね。汚れには、人間が出す汚れと、生活しているだけで出る汚れがありますが、人間が出す汚れについては、汚さないように一人ひとりが気をつけることが大切です。
		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●汚れにはどのような種類があるか知る
		進行・教師の投げかけ	<p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れにはどのようなものがありますか？ <p>※教室の中を見渡し、どんな汚れがあるかを発表させてもよい</p>

展開② 10分		ねらい 進行・教師の投げかけ	●ホコリや軽い汚れをそのままにしておくと、取れにくい「シミ」になることを知り、毎日掃除をすることの大切さに気づく 【発問】 ・汚れやホコリをそのままにしておくと、どうなるでしょう？ 【説明】 ・ホコリをそのままにしておくと、それに空気中の水分や油分がついたりして、軽い汚れからひどい汚れになります。そしてそれを放っておくと、最後にはシミになって汚れがなかなか取れにくくなります。 ・みんなは毎日学校の掃除をしているけれど、毎日掃除をすることで、シミになることを防いでいたのです。
		ねらい 進行・教師の投げかけ	●汚れをそのままにしておくことで、ものが壊れる原因になったり、不快を感じたりすることに気づく 【発問】 ・この換気扇の写真を見てみましょう。全く掃除せずに使い続けたら、どんなふうになると思いますか。 ・これを見てどんな気持ちになりますか？ 【説明】 ・気持ち悪くて使いたくないですね。それに動かなくなって換気扇の役割を果たさないかもしれませんね。
		ねらい 進行・教師の投げかけ	●目に見えない汚れにも気づく ●汚れをそのままにしておくことで、健康に影響することに気づく 【発問】 ・今までは目に見える汚れを見てきましたが、実は目に見えない汚れもあるのです。特にホコリの中にはいろいろな目に見えないものが含まれているのですが、どんなものがあるか知っていますか？ 【説明】 ・ホコリの中にはカビや菌、あとはダニなどがいることがあります。なんだか気持ち悪いですね。しかも目に見えないということは、知らない間に体の中に入っている可能性があるのですね。 【発問】 ・人間の体は、ちょっとしたカビや菌などには勝てるようになっています。全く掃除をせずに、ずっとこのままにしておいたらどうなるのでしょうか？ 【説明】 ・病気になりそうですね。掃除はみんなの健康を守るためにとても大切なのですね。
		ねらい 進行・教師の投げかけ	●どうして掃除をするのかの意味をおさえ、掃除の大切さを確認する 【発問】 ・最初にみんなに『どうして掃除をするのだろうか？』と考えてもらいましたが、今、みなさんはどうして掃除が必要だと思えますか？（自由に発言させる） 【説明】 ・掃除をすることには、健康、快適、耐久といって物を壊さず長持ちさせるという3つの意味があることを学びましたね。 ・掃除は、みんなが快適に楽しく暮らすためにはなくてはならないものだったのですね。 ※ワークシートを配付し、掃除をする3つの大切な意味の記入をうながす

実習 15分		ねらい ● 普段意識していない身近な汚れへの気づきをうながし、掃除の必要性に対する意識を高める
		進行・教師の投げかけ 【発問】 ・この授業では、どうして掃除をしなければならないかということを学びました。掃除時間にそのことを思い出してもらい、汚れを見つけたら残さず、きれいにしてほしいと思います。ところで、みんなが使っている机、そんなに汚れているようには見えませんが、本当にきれいなのかどうか、調べてみましょう。 ※机みがきチャレンジの実施。(授業時間に応じて実施してください) 詳細は欄外をご覧ください ・机はきれいでしたか？ 普段気づいてないけれど、実は汚れは目に見えない、気づかないところにもあるんですね。 ・毎日掃除しているけれど、本当にきれいになっているのか点検する必要がありますね。
まとめ 5分		ねらい ● 本時の内容を振り返る
		進行・教師の投げかけ 【説明】 ・きれいになるとなんだか気持ちいいし、うれしいですね。 ・今日は「どうして掃除をするのだろうか」ということを考え、掃除の大切さを学びました。そして汚れには、目に見える汚れだけでなく、目に見えない汚れもあるということを学びました。机みがきをして、きれいに見えるものも汚れていることに気づきましたね。掃除の大切さ、意外なところに汚れがあることがわかりましたね。これからの掃除も頑張りましょう。

【実習】

	ふだん気づかない汚れに気づかせる 机みがき体験をしよう	【対象】 全学年 【所要時間】 15～20分
● 概要	机みがき体験として歯ブラシと石けん水を使用し、日ごろ拭いている机をあらためていねいにみがき、ぞうきんで拭く活動を取り入れます。普段は意識していない汚れに気づくことができ、汚れや掃除に対して興味が高まります。	
● 方法	① 水で絞ったぞうきんで机を拭く ② 石けん水をつけた歯ブラシで机をゴシゴシみがく <石けん水の作り方> めるま湯 1 リットルに固形石けんを削って粉状にしたもの約 20g をペットボトルに入れて振りながら溶かす。(2%濃度なので、石けん水の使用量によって調節してください) ③ ぞうきんで再度拭く 歯ブラシでみがいたら、ぞうきんで机を再度拭く。きれいだと思っていた机の上がまだ汚れていることを確認させることで、机の上に普段気づかない汚れがあることを確認させる ④ 最後にぞうきんを水ですすいできれいにしてから、もう一度机を拭く ・※これは清拭き(きよぶき)といい、石けん成分が残っていると机の表面にシミができたり、石けん成分が本やノートにくっついてしまうことを防ぐために行う	
● 準備物	(児童 1 人ずつに用意) ・使用済み歯ブラシ ・白いぞうきん ・石けん水 ・石けん水を入れる器(紙コップ等)	



どうしてそうじをするのだろう

() 年 () 組 () 番 名前 ()

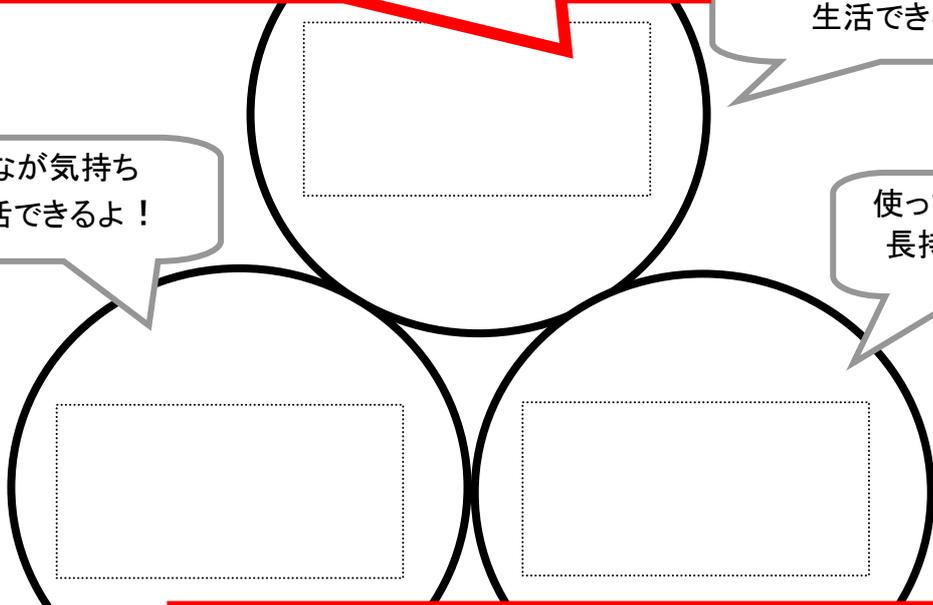
そうじをする3つの大切な意味を書こう

・児童が自ら書き込むことで何度も振り返られることをねらいとしています。

みんなが元気に生活できるよ！

みんなが気持ちよく生活できるよ！

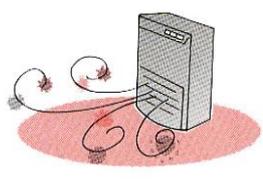
使っているものが長持ちするよ！



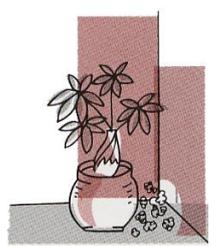
・今回の授業では、ホコリ等についての学習を行いますので、ホコリについてのアドバイスを掲載しています。先生の授業展開に沿って自由に使用してください。
・またワークシートは家庭に持ち帰り、おうちの方へ学習したことをお話するように児童に伝えてください。



室内のホコリがふえる季節は冬と春
冬はまどを閉めきってだんぼう器具を使うため、室内のホコリをかき回しているようなもの。こまめな換気で、汚れた空気を入れかえて。春は強い風がすなボコリや花粉などを運んでくるので、そうじがけだけじゃなく、ふきそうじもマメに。



ホコリはすみに、よごれは歩くところに
部屋では、人が動きまわるにつれて、ホコリはすみっこにいどう。逆によごれやゴミは、人が歩くところにたまりがち。そうじやモップを使って、部屋のすみっこを重点的におそうじしましょう。



授業2 そうじ用具を正しく使おう

【対象：全学年】

掃除用具の正しい使い方について学習します。ダスキンが提供する映像教材での学習や、実習を通して掃除用具の使い方に対する理解を深め、掃除に対する意欲向上にもつなげます。

進行概要

	min	概要
導入	5	普段の掃除用具の使い方を振り返り、用具の使い方を学ぶきっかけにする
展開 ①	15	ホウキの使い方 ・ホウキの正しい使い方を映像教材によって理解し、実習を通して習得する
〃 ②	20	ぞうきんの使い方 ・ぞうきんの正しい使い方を映像教材によって理解し、実習を通して習得する
まとめ	5	本日の振り返り

※本編では、ホウキ、ぞうきんの使い方を学習していますが、アレンジにより掃除機、モップの使い方の学習も可能です。

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	映像教材 (ダスキンが提案する掃除用具の使い方)	Microsoft® Media Player ™	6分23秒	掃除用具の基本的な使い方を学習する映像教材 (目的に応じた用具を選択し、ご活用ください)	教師
②	スライド教材 (そうじ用具を正しく使おう)	Microsoft ® PowerPoint®	17画面	掃除用具の基本的な使い方を学習する教材 (目的に応じた用具を選択し、ご活用ください)	教師

準備物

機 材 :
 ・PC (映像教材使用・スライド教材の準備)
 ・スクリーン
 ・スピーカー(映像音声のため)
 ・プロジェクター

その 他 :
 ホウキの学習 : ・ホウキ (グループ数)
 ・ちりとり (グループ数)
 ・色付紙吹雪 (適量 ※ゴミに見立てます)
 ぞうきんの学習 : ・ぞうきん (児童数分)
 ・水の入ったバケツ (グループ数)
 掃除機の学習 : ・掃除機
 モップの学習 : ・モップ

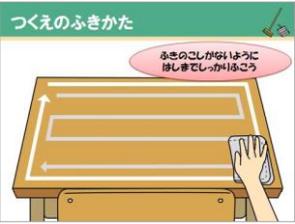
「そうじ用具を正しく使おう」授業進行ガイド

※本進行ガイドは、「ホウキ・チリトリの使い方」「ぞうきんの使い方」をもとに作成しています。

映像教材には「掃除機」「モップ」の使い方も用意していますので、展開①②を目的の用具に変更し、授業でご活用ください。

	進行用スライド		流れ
<p>導入 5分</p>		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●活動の目的を明確にし、見通しを持たせる</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校で掃除をするとき、どんな掃除用具を使っていますか？ <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 掃除用具は正しく使わないと、汚れをきれいに取ることができませんね。今日は掃除上手になるために、掃除用具の正しい使い方を勉強しましょう。
<p>展開① 15分</p>		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●映像教材「ダスキンが提案する掃除用具の使い方」を見て、ホウキの正しい使い方を理解する</p> <p>【準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 机を後ろに下げ、ホウキの使い方を練習するスペースをつくり、掃くための紙吹雪をまく 児童は教師の周りに集まる <p>ホウキとチリトリの使い方編</p> <p>【活動】</p> <p>①教師によるホウキのはき方・ゴミのとり方の「悪い例」を見せる(大きさに)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今からホウキを使ってゴミをとります。しっかり見ていてください ※ゴミを見ずに掃く、ゴミを巻き上げて掃く、ホウキを振り回し大切に扱っていない、遊びながら掃くなどの悪い例を見せる <ul style="list-style-type: none"> 今の掃き方はどうでしょう？ そうですね。良い掃き方ではありませんでしたね。どこが悪いと思いますか？ では、どうすれば良くなると思いますか？ ※児童に意見を聞き、実際に教師が「良い例」を見せる <p>②掃除用具の使い方映像を視聴させ、ホウキの使い方、チリトリの使い方のポイントを確認させる</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生の例も見てもらいましたが、ホウキとチリトリの使い方についてまとめた映像があるので、見ましょう。何がポイントか後で確かめるので、よく見てくださいね。 <p> ・ホウキの使い方を映像で見る。(約 1分 3秒)</p> <p>・チリトリの使い方を映像で見る。(約 37秒)</p> <p>※映像は最初から見ると2分30秒あります。</p> <p>③掃除用具の使い方のポイントを発表させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ホウキで掃くときや、チリトリでゴミをとるときには、どんなポイントがありましたか？ <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>●ホウキのポイント！</p> <ul style="list-style-type: none"> 持ち方を確認する 手を肩幅に広げ、上下に向かい合わせにもつ モップのように掃く(押す)のではなく、ゴミを確認しながら集める ホウキを勢いよく動かさず、押さえるようにはく(押さえばき) ホコリをまいあげない 狭いところから広い所へ掃く 掃き出したゴミやホコリをできるだけ踏まないようにして、掃きながら前へと進む できるだけ床の板目にそって掃く <p>※ホウキには向きがあるものもあるので、注意すること</p> </div>

	<p>チリトリのつかいかた</p> <p>●チリトリのうしろをすこし持ちあげます ●チリトリにゴミを入れます ●チリトリをうしろにすこしずつずらしすきます</p>	<p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●チリトリのポイント！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを取るときは、チリトリの後ろを少し持ち上げる ・ホウキでチリトリにゴミを入れる⇒チリトリを少しずつ後ろにずらしていく…と <p>いうことを繰り返す</p>
	<p>チリトリのつかいかた</p> <p>●チリトリのうしろをすこし持ちあげます ●チリトリにゴミを入れます ●チリトリをうしろにすこしずつずらしすきます</p>	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●実習を通じて、ホウキ・チリトリの使い方の基礎・基本を楽しく身につける</p> <p>※再度、ゴミをとることが実感できるように、紙吹雪をご準備ください</p> <p>【活動】</p> <p>①映像のポイントを振り返りながら、教師が実演で示す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいホウキの使い方、チリトリの使い方スライドを提示して確認する <p>②児童に用具の使い方のポイントを意識させながら、実習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像で見たように、ポイントを意識して、班ごとに2人ペアでホウキとチリトリをやってみましょう。前に出ているポイントができていないか、班の人は見て言ってあげてくださいね ・実習後、ゴミをきれいに取ることができたか、何人かに感想を発表させる <p>③実習が終わったら、用具入れに片づけるまでが重要であることを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除が終わった後のホウキはどうしますか？ <p>※掃除用具入れの中にどのように片づけるかを、教師が実践して見せる</p> <p>※管理の仕方(ホウキをつるす、ホウキの毛先を上に向けて立てかける等)は各学校に合わせてください</p>
<p>展開②</p> <p>20分</p>	<p>ぞうきんのつかいかた</p> <p>ぞうきんのつかいかた</p> <p>✓ぞうきんは ふたんどややって使っているのかな？</p> <p>✓正しいつかいかたを見てみよう</p> <p>えいぞうでかくん</p>	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●映像教材「ダスキンが提案する掃除用具の使い方」を見て、ぞうきんの正しい使い方を理解する</p> <p>ぞうきんの使い方(拭き方、洗いや絞る方)編</p> <p>【活動】</p> <p>① 普段のぞうきんの拭き方、洗いや絞る方を振り返らせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぞうきんの使い方を確かめます。普段どのように拭いていますか？ぞうきんで拭き始めるところから、片付けるところまでやってみてください。 <p>※児童1人に拭かせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か気づいたことはありますか？ ※見ていた児童に発言させる <p>②掃除用具の使い方映像を視聴させ、ぞうきんの使い方のポイントを確認させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・では正しい使い方を映像で見ましょう。何がポイントか後で確かめるので、よく見てくださいね。 <p> ・ぞうきんの使い方を映像で見る(約2分)</p> <p>③掃除用具の使い方のポイントを発表させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぞうきんを使うときには、どんなポイントがありましたか？

	  	<p>進行・教師の投げかけ</p> <p>●ぞうきんのポイント！</p> <p>【拭き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぞうきんを手のひらサイズに合わせて、2つまたは4つに折る ・机のまわりをふいた後、全体を拭きあげる <p>※カタカナのコの字を書くようにジグザグに拭く 最後に机の縁の部分も拭く</p> <p>【ぞうきんの洗い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バケツの中で、ぞうきんの端または真ん中を持って、振り洗いをする ・汚れの多いところはこすり合わせて洗う <p>※シンクで洗う場合はぞうきんを広げて、端を押さえて、もう一方でぞうきんの端を持ち、こすり合わせて洗う</p> <p>【ぞうきんの絞り方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片方の手でぞうきんの端を持ち、もう一方の手でぞうきんを上から下にしごき、水をきる。 ・ぞうきんを2つに折り重ね、棒状にする ・綱引きの綱を握るように持ち、両肘を寄せるように握った手を内側に絞る（たて絞り）ことで、水分を効率よく絞ることができる
	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●実習を通して、ぞうきんの使い方の基礎・基本を楽しく身につける</p> <p>【活動】</p> <p>[準備]バケツに水を入れておく</p> <p>①映像のポイントを振り返りながら、教師が実演で示す ※ぞうきんのしぼり方スライドを提示して確認する</p> <p>②児童にぞうきんの使い方のポイントを意識させながら、実習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像で見たように、ポイントを意識して、班ごとにぞうきんの洗い方、絞り方をやってみよう。ポイントができていないか、班の人は見て言ってあげてください。 <p>★ここでぞうきんをぬらして練習を行います。 ※実習後、うまく洗って絞ることができたか、何人かに感想を発表させる</p> <p>③実習が終わったら、片づけるまでが重要であることを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除が終わった後のぞうきんはどうしますか？ <p>※ぞうきんを干す場所を示し、自分のぞうきんは自分で管理することを指導する</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●本時の内容を振り返る</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は、学校の教室をきれいにするための掃除用具の使い方を勉強しました。毎日の掃除時間中に、学んだことができるようがんばりましょう。 <p>※児童に感想を聞く ※これからの掃除への期待を高めるように動機付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強したことは、ぜひ家でもやってみましょう。おうちの人に教えてあげて、一緒にするのもいいですね！ <p>※お家の人に学習したことを伝えるようにうながす ※毎日テーブルをふきんで拭くという宿題を出してもよいでしょう</p>

その他の用具のポイント

ホウキ以外の掃除用具の使い方のポイントをまとめました(すべて映像教材があります)。ご活用ください。

🗑️ **そうじき編 (映像教材 約 50 秒)**

●ポイント

<かけ方>

- ・フローリングや畳の場合
板の目にそった方向に動かすと、ゴミがうまくとれます。
- ・カーペットの場合
タテ・ヨコ・ナナメの3方向でかけ、後に引くときにも力を入れることで、ゴミがうまくとれます。

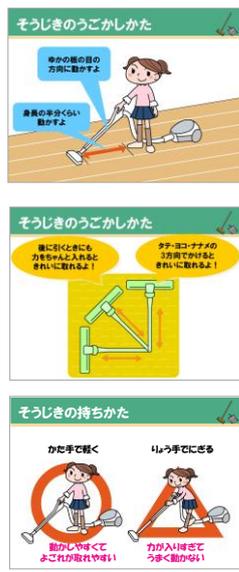
<動かし方>

- ・自分の身長の半分くらいの距離を動かすと上手にかけられます。
- ・掃除機の吸い込み口は、床に強く押し付け過ぎないように、ゆっくりと前後に動かします。
- ・ゆっくり動かすほど、吸いとるゴミの量は多くなります。

<持ち方>

- ・片手で軽く持つと動かしやすいです。
(両手だと力が入りすぎ、動かしぶらいい場合があります。)

<スライド教材>



そうじきのうごかしかた
奥の板の目の方向に動かすよ
奥の手がぐい動かすよ

そうじきのうごかしかた
奥に引くときにも力をいれようよ
きれいに取れるよ！
タテ・ヨコ・ナナメの3方向でかけるときれいに取れるよ！

そうじきの持ちかた
かた手で軽く
力が入りすぎて
動かしぶらいいよ
動かすよ
きれいに取れるよ！
力が入りすぎて
うまくだらぬよ！

●注意

- ・たまったゴミはこまめに捨てましょう。

🗑️ **モップ編 (映像教材 約 25 秒)**

●ポイント

<使い方>

- ・棚や机の上を拭くとき
ゆっくり軽く動かすとホコリがよくとれます。
- ・床の上を拭くとき
板目にそって力を入れずに軽く動かします。
できるだけモップは最後(出口)まで持ち上げないようにします。

<スライド教材>



モップのつかいかた
モップの柄杓を動かすと
ほこりがよく取れるよ

モップのつかいかた
奥のよは板の目にそって
力を入れずに
軽く動かすよ

●注意

- ・モップについてのホコリは、掃除機で吸うなどこまめにとりましょう。

授業3 学校そうじの正しい手順を知ろう

【対象：全学年】

学校掃除の正しい手順について学習します。ダスキンが提供する映像教材での学習や、実習を通して掃除手順への理解を深め、掃除に対する意欲向上にもつなげます。

進行概要

概要	
導入	普段の学校掃除手順について振り返り、正しい手順を学ぶことを伝える
展開 ①	黒板 映像教材で黒板の拭き方の正しい掃除手順を学ぶ
" ②	窓 映像教材で窓の拭き方の正しい手順を学ぶ
" ③	階段 映像教材で階段の掃き方の正しい掃除手順を学ぶ
" ④	廊下 映像教材で廊下の掃き方の正しい掃除手順を学ぶ
" ⑤	トイレ 映像教材でトイレ掃除の正しい手順を学ぶ
まとめ	本日の振り返り

※展開①～⑤の実施については、学校やクラスの状態に応じて選択して実施し、自由に時間配分を設定してください。

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	映像教材 (ダスキンが提案する 学校掃除の手順)	Microsoft® Media Player™	16分02 秒	掃除の正しい手順を学習する 映像教材 (目的に応じた用具を選択し、 ご活用ください)	教師
②	スライド教材 (学校そうじの正しい 手順を知ろう)	Microsoft® PowerPoint®	20画面	学校掃除の正しい手順について 学習する教材 (目的に応じた場所を選択し、 ご活用ください)	教師

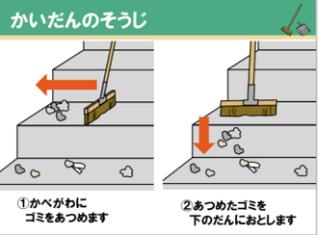
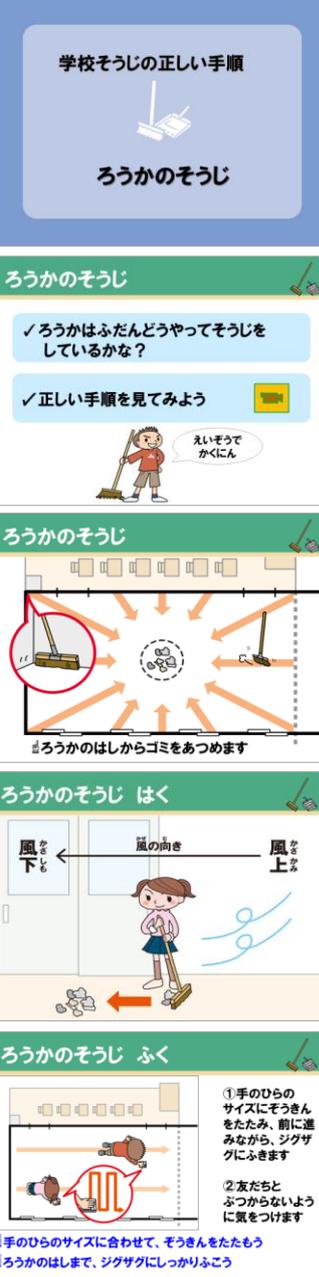
準備物

- 機材：
- ・PC（映像教材使用・スライド教材の準備）
 - ・スクリーン
 - ・スピーカー（映像音声のため）
 - ・プロジェクター

「学校掃除の正しい手順を知ろう」授業進行ガイド

	進行用スライド		流れ
導入		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●活動の目的を明確にし、見通しを持たせる</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段いろいろな場所の掃除をしています。今日は掃除の手順(方法)を勉強しましょう。 <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除は正しい手順で行わないと、汚れをきれいに取ることができません。みなさんが掃除上手になるために、掃除の正しい手順を学びましょう。
展開①		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●映像教材「ダスキンが提案する学校掃除の手順」を見て、黒板掃除の手順を理解する</p> <p>黒板掃除の手順</p> <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 普段の掃除の手順を振り返らせる <ul style="list-style-type: none"> ・普段どんなふうに黒板を掃除していますか？ やってみてください。 ※児童 1~2 人に自由に拭かせてみる ・何か気づいたことはありますか？ ※見ていた児童に発言させる ② 「学校掃除の正しい手順」の映像を視聴させ、ポイントを確認させる <ul style="list-style-type: none"> ・黒板掃除の手順を映像で見ましょう。どんな手順で行っているかをあとで確かめるので、よく見てくださいね <p> ・黒板の拭き方の手順を映像で見る。(約 1 分 04 秒)</p> ③ 黒板掃除の正しい手順を発表させる <ul style="list-style-type: none"> ・映像の中では、どんな手順で黒板を掃除していましたか？ ④ 提示した手順のポイントを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>●黒板掃除の手順</p> <ol style="list-style-type: none"> ① きれいな黒板消しを使用し、端から順に上から下へ拭き残しがないように拭く。このとき、黒板消しは少し傾けて端から順に拭く ※横に拭くと移動距離が長くなるので、上から下に拭くことを勧めます ② チョーク受けの部分を小ぼうきで掃き、固く絞ったぞうきんで拭く ③ 最後に黒板消しをきれいにし、チョークや黒板消しをそろえてきれいに整頓する ④ 黒板を水拭きするときは、固く絞ったぞうきんで端からきれいに拭く </div> <p>ねらい</p> <p>●実習を通じて、黒板掃除の手順の基礎・基本を楽しく身につける</p> <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 映像の手順を振り返りながら、教師が実演で示す ② 児童に映像の手順を意識させながら、実習させる <ul style="list-style-type: none"> ・映像で見た手順を意識して、黒板の掃除をしてみよう。きれいにできているかどうか、見ている人はしっかり観察して、気づいたことは言ってあげてください ※代表の児童 1 人に黒板掃除をしてもらい、掃除をした児童、見ていた児童に感想を聞く <p>進行・教師の投げかけ</p>

<p>展開②</p>		<p>ねらい</p> <p>●映像教材「ダスキンが提案する学校掃除の手順」を見て、窓の拭き方の手順を理解する</p> <p>窓の拭き方手順 【活動】</p> <p>①普段の掃除の手順を振り返らせる ・普段どんなふう窓を拭いていますか？ ※児童 1 人に自由に拭かせる ・何か気づいたことはありますか？ ※見ていた児童に発言させる</p> <p>②学校掃除の手順の映像を視聴させ、ポイントを確認させる ・窓の拭き方の手順を映像で見ましょう。どんな手順で行っているかをあとで確かめるので、よく見てくださいね</p> <p> ・窓の拭き方の手順を映像で見る。(約 2 分 07 秒)</p> <p>③窓の拭き方の手順を発表させる ・映像の中では、どんな手順で窓を掃除していましたか？</p> <p>④提示した手順のポイントを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>●窓の拭き方の手順</p> <p>①水に浸して軽く絞ったぞうきんで、窓ガラス全体をコの字を描くように上から下に拭く</p> <p>②乾いた別のぞうきんで拭きあげる。まず周りから拭き、その後コの字を描くように上から下に拭く</p> <p>③固く絞ったぞうきんで窓枠とレール部分を拭く。 ※ぞうきんは、手の平のサイズに合わせてたたみ、常にきれいな面を使う</p> </div>
<p>展開③</p>		<p>ねらい</p> <p>●実習を通じて、窓の拭き方の手順の基礎・基本を楽しく身につける</p> <p>【活動】</p> <p>①映像の手順を振り返りながら、教師が実演で示す</p> <p>②児童に映像の手順を意識させながら、実習する ・映像で見た手順を意識して、窓の掃除をやってみましょう。きれいにできているかどうか、見ている人はしっかり観察して、気づいたことは言ってあげてください ※班ごとに代表の児童 2 名程度に交代で窓拭き掃除をしてもらい、掃除をした児童、見ていた児童に感想を聞く</p>
		<p>ねらい</p> <p>●映像教材「ダスキンが提案する学校掃除の手順」を見て、階段の掃除手順を理解する</p> <p>階段の掃除手順 【活動】</p> <p>①普段の掃除の手順を振り返らせる ・普段どんなふう階段を掃除していますか？ ※児童に口頭で説明してもらい、階段で指導する場合は、児童に掃除をさせてみる。</p> <p>②学校掃除の手順の映像を視聴させ、ポイントを確認させる ・では階段掃除の手順を映像で見ましょう。どんな手順で行っているかをあとで確かめるので、よく見てくださいね</p> <p> ・階段の正しい掃き方の手順を映像で見る。(約 1 分)</p> <p>③階段の掃き方の手順を発表させる ・映像の中では、どんな手順で階段を掃除していましたか？</p> <p>④提示した手順のポイントを確認する</p>

	 <p>かいだんのそうじ</p> <p>①かべがわにゴミをあつめます</p> <p>②あつめたゴミを下のだんにおとします</p>	<p>進行・教師の投げかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●階段の掃き方の手順 <ol style="list-style-type: none"> ①上の段から順に、壁のあるほうへ向かってはいていき、壁際にゴミやホコリを集める ②集めたゴミやホコリを下の段へ掃き落とす ③同じように下の段にはいていき、階段の下で集めたゴミやホコリをチリとりでとる
<p>展開④</p>	 <p>学校そうじの正しい手順</p> <p>ろうかのそうじ</p> <p>ろうかのそうじ</p> <p>ろうかのそうじ はく</p> <p>ろうかのそうじ ふく</p>	<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●映像を通じて、階段の掃き方の手順の基礎・基本を楽しく身につける <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①映像の手順を振り返りながら、教師が実演で示す ②児童に映像の手順を意識させながら、実習させる <ul style="list-style-type: none"> ・映像で見た手順を意識して、階段掃除をやってみましょう。きれいにできているかどうか、見ている人はしっかり観察して、気づいたことは言ってあげてください ※班ごとに代表の児童 3 名程度に交代で階段掃除をしてもらい、掃除をした児童、見ていた児童に感想を聞く <p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●映像教材「ダスキンが提案する学校掃除の手順」を見て、廊下の掃除手順を理解する <p>廊下の掃除手順</p> <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①普段の掃除の手順を振り返らせる <ul style="list-style-type: none"> ・普段どんなふうにも廊下を掃除していますか？ ※児童に口頭で説明してもらおう。 ②学校掃除の手順の映像を視聴させ、ポイントを確認させる <ul style="list-style-type: none"> ・では廊下掃除の手順を映像で見ましょう。どんな手順で行っているかを、あとで確かめるので、よく見てくださいね <p>進行・教師の投げかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●廊下の掃き方の手順を映像で見る。(約 30 秒) <ol style="list-style-type: none"> ③廊下の掃き方の手順を発表させる <ul style="list-style-type: none"> ・映像の中では、どんな手順で廊下を掃除していましたか？ ④提示した手順のポイントを確認する <ul style="list-style-type: none"> ●廊下の掃除(掃く) <ol style="list-style-type: none"> ①廊下の端から順に掃き、ゴミを集める ②ゴミを1カ所に集め、チリとりでとる ※風の強い日は、風上から風下に向かって掃く。 ●廊下の掃除(拭く) <ol style="list-style-type: none"> ①ぞうきんを手の平のサイズにたたみ、廊下の隅まで拭き残さないよう、手を広げ、ジグザグに前に進んで拭いていく ②友だちとぶつからないように注意する ※ぞうきんは、手の平のサイズに合わせてたたみ、常にきれいな面を使う <p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●実習をして、廊下の掃除手順の基礎・基本を楽しく身につける <p>進行・教師の投げかけ</p> <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①映像の手順を振り返りながら、教師が実演で示す ②児童に映像の手順を意識させながら、実習させる <ul style="list-style-type: none"> ・映像で見た手順を意識して、廊下の掃除をやってみましょう。きれいにできているかどうか、見ている人はしっかり観察して、気づいたことは言ってあげてください ※班ごとに代表の児童 3 名程度に交代で廊下の掃除をしてもらい、掃除をした児童、見ていた児童に感想を聞く

<p>展開⑤</p>	 <p>学校そうじの正しい手順</p> <p>トイレのそうじ</p> <p>トイレのそうじ</p> <p>✓トイレはふだんどうやってそうじをしているかな？</p> <p>✓そうじの仕方を見てみよう</p> <p>トイレのそうじ（ゆかに水を流す場合）</p> <ol style="list-style-type: none"> ゆかのゴミをあつめます 便器まわりに水をかけ、ブラシでこすります 小便器も、ブラシでこすります ゆかに水をまき、ブラシでこすり、終わったら水を流します 便器・小便器をぞうきんでふきます ゆか用ワイパーで水をきり、かわいたモップでふいて、かんそうさせます 手あらい場をきれいにします <p>トイレのそうじ（ゆかに水を流さない場合）</p> <ol style="list-style-type: none"> ゆかのゴミをあつめます バケツに水を入れ、ブラシで便器をこすります 小便器も、ブラシでこすります 固く絞ったぞうきんで、便座や便器・小便器をふきます 固く絞ったモップかぞうきんでゆかのよごれをふきます 手あらい場をきれいにします 	<p>ねらい</p> <p>●映像教材「ダスキンが提案する学校掃除の手順」を見て、トイレ掃除の手順を理解する</p> <p>トイレ掃除の手順</p> <p>【発問】</p> <p>①普段の掃除の手順を振り返らせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段どんなふうトイレを掃除していますか？ ※児童 1～2 人に発言させる ・男子トイレには、小便器もありますね。どんなふう掃除していますか？ ※児童 1～2 人に発言させる <p>②「学校掃除の正しい手順」の映像を視聴させ、ポイントを確認させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ掃除を映像で見ましょう。どんな手順で行っているかあとで確かめるので、よく見てくださいね <p> ・トイレそうじのしかたを映像で見る。(約 5 分)</p> <p>③トイレ掃除の正しい手順を発表させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像の中では、どんな手順で掃除をしていましたか？ <p>④提示した手順のポイントを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>●トイレそうじの手順（床に水を流す場合）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①個室の床を端から順に掃き、ゴミを集める ②便器周りに水をかけ、ブラシでこする ③小便器をブラシでこする ④床に水をまき、ブラシでこすり、終わったら水を流す ⑤便器・小便器をぞうきんでふきあげる ⑥床用ワイパーで水をきり、乾いたモップで拭いて、乾燥させる ⑦手洗い場と鏡をきれいにする </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>●トイレそうじの手順（床に水を流さない場合）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①個室の床を端から順に掃き、ゴミを集める ②バケツに水を入れ、ブラシで便器をこする ③小便器をブラシでこする ④固く絞ったぞうきんで、便座や便器・小便器を拭く ⑤固く絞ったモップかぞうきんで、床の汚れを拭いて、乾燥させる ⑥手洗い場と鏡をきれいにする </div>
	<p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>ねらい</p> <p>●実習をして、トイレの掃除手順の基礎・基本を楽しく身につける</p> <p>【活動】</p> <p>①映像の手順を振り返りながら、教師が実演で示す</p> <p>②児童に映像の手順を意識させながら、実習させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像で見た手順を意識して、トイレの掃除をやってみましょう。きれいにできているかどうか、見ている人はしっかり観察して、気づいたことは言ってあげてください ※班ごとに代表の児童 3 名程度に交代でトイレの掃除をしてもらい、掃除をした児童、見ていた児童に感想を聞く <p>進行・教師の投げかけ</p>

ま じ ら		ね ら い	●本時の内容を振り返る
		進 行 ・ 教 師 の 投 げ か け	<p>【説明】</p> <p>①掃除は、使った用具を片付けるところまでが重要であることを伝える</p> <p>②本時のまとめをする</p> <p>・今日は、学校をきれいにするための掃除手順を勉強しました。 毎日の掃除時間で思い出して、学んだことをやってみましょう。</p> <p>※児童に感想を聞く</p> <p>※これからの毎日の掃除に期待を高めるように動機付ける</p>

授業4 身近にあるものを使ってそうじをしよう

【対象：全学年】

学校の汚れについて確認し、汚れに対して効果的な掃除方法や、身近なものを掃除用具として活用できることに気づきます。また、実際に効果を感じることで、今後の掃除時間への意欲を持たせます。

進行概要

	min	概要
導入	5	掃除時間に使用する掃除用具を振り返り、汚れに対して効果的な掃除用具について考えることを伝える
展開 ①	10	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の汚れ探しをし、場所によってさまざまな種類の汚れがあることに気づく ・見つけた汚れに対して、普段、どのような掃除用具で掃除をしているかを振り返る
展開 ②	15	身近なものを工夫することで、効果的に汚れを落とすことができることに気づく <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料を読み、さまざまなものが掃除用具として活用できることを知る
実習	10	身近なものを利用して掃除をおこなう
まとめ	5	本日の振り返り

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	参考資料 (身近にあるものを活用しよう)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	2 枚	身近にあるものを使った掃除用具を紹介した資料	児童

準備物

配布資料： ・参考資料

用具： ・参考資料(身近にあるもの)の中から、いくつか準備する
 ・古い歯ブラシ(各自持参)
 ・石けん水
 ・歯磨き粉

「身近にあるものを使ってそうじをしよう」 授業進行ガイド

進行用スライド		流れ	
導入 5分		ねらい	●授業の見通しをもつ
		進行・教師の投げかけ	【説明】 ・学校でいつも掃除をしているけれど、どんな掃除用具を使っていますか？今日は汚れを効果的に落とすことができるように、「掃除用具」について考え、実際に掃除をしてみましょう。
展開① 10分		ねらい	●教室の汚れ探しをし、場所によってさまざまな種類の汚れがあることに気づく ●普段の掃除用具について振り返る
		進行・教師の投げかけ	【発問】 ・まず「教室」の汚れを確かめましょう。毎日教室掃除をしています、どこにどんな汚れがあるでしょう？あらためて汚れを探してみましょう。 ※1分間で教室の汚れを探させ、発表させる 【説明】 ・黒板の下はチョークの粉、床の上や隅には砂やホコリや消しゴムのかす、壁には黒いシミ、電気スイッチには手アカなど、いろいろな汚れがありましたね。 (児童の発表内容に合わせ、場所による汚れの特徴などを説明する) 【発問】 ・普段はそれらの汚れをどのようにどんな用具を使って掃除をしていますか？ ※普段の掃除について振り返らせ、気づいていない汚れや、掃除していない汚れがあることに気づかせる 【発問】 ・すき間につまっているほこりなどの汚れを効果的に取るにはどうしたらよいでしょう？ 今から、身近にあるものでどんなものが掃除用具として活用できるか、汚れを取ることができるか考えていきましょう！
展開② 15分		ねらい	●身近なものを工夫することで、効果的に汚れを落とすことができることに気づく
		進行・教師の投げかけ	【説明】 普段身近にあって、掃除に使えるもの・・・例えばこのわりばしを使った掃除用具。これを使えば、小さなすき間に入った汚れをこすりとることができます。これをヒントにして、他にはどんな用具でどんな汚れが取れるか考えてみましょう。 ※児童に意見を聞き、よい気づきがあれば評価する。 ※参考資料の配付 【説明】(身近なものを工夫することで掃除用具として利用できることがわかる) ・このシート(参考資料)は、身近なものの利用の仕方などが載っています。 ・わりばしや綿棒やつまようじを使うと、すき間もきれいになりますね。あとは、靴下や使い終わったカードも掃除用具になります。

<p>展開③ 10分</p>		<p>ねらい</p>	<p>●身近なものを利用して掃除をおこなう</p>
<p>まとめ 5分</p>		<p>ねらい</p>	<p>●本時をふりかえり、掃除の楽しさや、汚れが落ちた後の気持ちよさに気づく</p>
		<p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>【発問】 ・今日はみんなに歯ブラシをもってきてもらいました。歯ブラシを使うと、教室の中のどんなところをきれいにできるでしょうか。 ※予想される児童の反応：ドアのレール、窓のさん、机やいすの脚、黒板のチョーク置き…など</p> <p>【説明】 ・いい意見が出ましたね。先生のところに、石けん水と歯磨き粉も用意していますので、使ってもいいですよ。 ・汚れがきれいに取れた時は、他の汚れも探して、もっときれいにしましょう。</p> <p>【発問】 ・では、〇〇時〇〇分まで、きれいにしましょう。 ※歯ブラシと石けん水を使って掃除をした場合には、ぬらして固く絞ったぞうきんを用意しておき、拭き取る必要があります。</p>
		<p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>【発問】 ・いつもと違う掃除用具を使って、掃除をしてみてくださいか？</p> <p>【説明】 ・汚れに合った掃除方法や掃除用具を選ぶことの大切さがわかりましたね。みんなに渡した参考資料には、家でも使える情報が載っています。ぜひ、おうちの人と一緒に身の回りにあるものを工夫して掃除用具を作って掃除をしてみてください。</p> <p>※学習した週(月)は特別掃除週(月)間とし、参考資料に載っている掃除用具を家から持ってきて掃除をさせてもよいでしょう。</p>

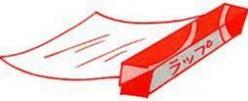
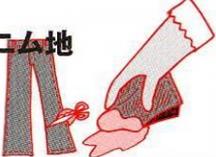
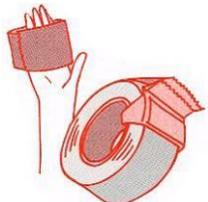
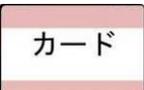
・身近なものがどのような掃除用具になるかを確認できるリストです。児童に、「わりばし、歯ブラシなどは手の届かない場所にも便利だということや、ティッシュペーパーやラップの意外な使い方、軍手やくつ下、ガムテープなども、ちょっとした使い方の工夫で、効果的な掃除用具に生まれ変わることを伝えてください。
 ・「家の人に見せて、一緒につくってみよう！」などと呼びかけてください。

みじか かつよう
身近にあるものを活用しよう

身の回りにはそうじに役立つものがたくさんあります。
 使い古したものも、捨てる前にうまく利用してみましょう。

そうじ用具	そうじの方法	つかい方
しんぶんし 新聞紙 	と くっつけて取る ほごする	そうじをする時、まわりがよごれないようにほごするのに 使用。また、水にひたしてしぼり、細かくちぎって玄関や 教室のすみにまいてはきそうじ
は 古い歯ブラシ 	こする	スポンジではとどかない細かい部分のよごれを、こすり 取ったり、かき出したり、みがいたりするのに便利
わりばし 	こする と かき取る	ゆびが入らないようなすき間は、わりばしの出番。その まま使ってよごれをこそげ落とすほか、布をまきつけて ふきそうじにも
つまようじ 	と かき取る	細かいみぞや、シャワーヘッドのあなのそうじに。漂白剤 などを一部分にだけつけたいときにも便利
めんぼう 	ふく と かき取る	家電製品や細かいでこぼこのある部分にかつやく。水を ふくませたり、洗剤をつけたりすると、より効果的
ふで 筆 	はたく	照明器具のかさ、パソコンのキーボード、人形など置物 のホコリ取りにかつやく



<p>ティッシュペーパー</p> 	<p>せんざい 洗剤がたれないようにする</p>	<p>かんきせん べんき 換気扇や便器のがんこなよごれは、せんざい 洗剤がたれないようにティッシュペーパーをかぶせてしばらくおいておく。よごれがういておとしやすい</p>
<p>しょくひん 食品用ラップ</p> 	<p>じょうはつ ふせ 蒸発を防ぐ ほご 保護する</p>	<p>ひょうはくじ せんざい 漂白時や洗剤をぬりつけたとき、じょうはつ ふせ 蒸発を防ぐために上からはっておく。そうじ中、よごれてはいけない場所にも じぜん 事前にラップでガード</p>
<p>ドライヤー</p> 	<p>あたた 温めて取る</p>	<p>まどにはったシールを取るときにドライヤーでシールを あたた 温めると取りやすい</p>
<p>古いデニム地 デニム地</p> 	<p>こする</p>	<p>デニムにクレンザーをつけてこするとこうかてき 効果的。</p>
<p>ぐんて 軍手</p> 	<p>ふく ほご 保護する</p>	<p>ケガを防ぐだけでなく、水にぬらしたりせんざい 洗剤をつけたりしてこま 細かいところのふきそうじにべんり 便利</p>
<p>ふよう 不要なつ下</p> 	<p>ふく ほご 保護する</p>	<p>ぐんて 軍手をぞうきん代わりにするように、そのまま手にはめてふきそうじ</p>
<p>ガムテープ</p> 	<p>くっつけて取る</p>	<p>ねんちやく 粘着ローラーがなくても目についたゴミはさっとくっつけて、手間いらずでかんたん</p>
<p>きげんき 期限切れのカード</p> 	<p>かき取る</p>	<p>こびりついたよごれをかき取るのにかつやく</p>

授業5 よごれに合ったそうじの方法を考えよう

【対象：中・高学年】

実習を通して、汚れにあった掃除方法、用具を正しく選択することの大切さに気づきます。また、汚れにあった掃除方法を考え、正しい方法を知ることによって、これからの生活に活かしていこうという意欲を持たせます。

進行概要

	min	概要
導入	5	汚れに合った掃除の方法について考えることを伝える
展開①	20	汚れに合った掃除方法について実習を通して学習する ・汚れた場所・汚れの種類によって掃除方法の違いがあることに気づかせる
展開②	15	汚れに合った掃除方法を考える ・参考資料をもとに、汚れに合わせた掃除用具と掃除方法を確認する
まとめ	5	本日の振り返り

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 (よごれに合ったそうじの方法を考えよう)	Microsoft® PowerPoint®	5 画面	汚れに合った掃除の大切さについて気づく教材	教師
②	参考資料 (よごれに合ったそうじの方法を考えよう)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1 枚	汚れに合った掃除方法・掃除用具を説明した資料	児童

準備物

配付資料： ・参考資料

機 材： ・PC(スライド教材の準備)
・スクリーン
・プロジェクター

そ の 他： ・実習で使用するもの(P.33 実習準備物を参照)

「よごれに合ったそうじの方法を考えよう」 授業進行ガイド

進行用スライド		流れ	
導入 5分		ねらい 進行・教師の投げかけ	●授業の見通しをもつ
			【説明】 ・普段いろいろな場所の掃除をしています。今日は、汚れに合った掃除の方法を考えましょう。
展開① 20分		ねらい 進行・教師の投げかけ	●汚れに合った掃除方法、掃除用具を正しく選択することの大切さに気づく ●身近な用具を工夫することで、効果的に汚れを落とすことができることに気づく
			【説明】 汚れに合った掃除の方法を考えるにあたって、今から1つ実習をします。 ※実習「水性サインペンと油性サインペンの汚れ落とし」の実施 詳細は欄外をご覧ください。児童が実習を行うと効果的です 【説明】(実習の振り返り) ・実習を通して、効果的に汚れを落とすためには、いくつかのポイントがあります。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> ●ポイント！ 1. 汚れの種類に合った掃除方法、洗剤、用具を選ぶこと 2. 掃除をする対象面に合った掃除用具を選ぶこと </div> 【説明】 ・たとえば手洗い場は、金属たわしで掃除すると傷がついてしまうのでスポンジたわしを使うほうがよいですね。このように、普段の掃除でもガラスや板、ビニールなどの素材によって掃除用具や洗剤を選ぶことが大切なのです。 ※ポイントの2「掃除をする対象面に合った掃除用具を選ぶこと」のイメージが児童にできていないように感じられた場合は、具体例を用いて補足する。

<p>展開② 15分</p>		<p>ねらい</p>	<p>●汚れと、汚れに合った掃除方法・洗剤・掃除用具を知る</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れについて見てきましたが、汚れのもとであるホコリに水や油(手の油など)などが混ざってシミに変身していきます。だから、棚や机の上に軽くのっているホコリのうちに掃除をすることが大切なのです。ホコリはついてすぐだったら、簡単に拭き取ることができますね。 ・ホコリは、『飛んでいるホコリ』、『軽くのっているホコリ』、『表面についたよごれ』、『しみこんだひどいよごれ』というように変わっていきます。 <p>※ 参考資料の配付</p> <p>【発問】(参考資料を見て、汚れの種類と掃除方法・掃除用具の確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このシート(参考資料)は、汚れの種類による掃除方法や掃除用具をまとめているものです。例えば「綿ホコリ」だったらどんな掃除方法ですか？掃除用具はどんなものが適しているでしょう？ <p>※参考資料「よごれに合ったそうじの方法を考えよう」を見て、汚れについて確認する</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料にも、「軽くのっているホコリ」、「表面についたよごれ」、「しみこんだひどいよごれ」それぞれに、「掃除方法」が書いてありますが、3つを比べてみて、どんな違いがありますか？ <p>※自由に発言させる</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「軽くのっているホコリ」は簡単に取れそうですが、「表面についたよごれ」や「しみこんだひどいよごれ」は、強い洗剤も必要ですし、掃除するのに力がいりそうですね。汚れは軽いうちに落とすことが大切ですね。
<p>まとめ 5分</p>		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●本時を振り返り、学習したことを再度確認する</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は、ペットボトルの汚れを落とす実習をすることで汚れに合った掃除方法や掃除用具を選ぶことの大切さがわかりましたね。 ・参考資料には、家の汚れを落とす方法も載っています。是非おうちの人とやってみてくださいね。

実習「水性ペンと油性ペンの汚れ落とし」

* 実習のねらい

- ・汚れに合った掃除方法、掃除用具を正しく選択することの大切さに気づく
- ・身近な用具を工夫することで、効果的に汚れを落とすことができることに気づく

●準備物

- ・ぞうきん(あれば古いデニムなどの綾織りのハギレ)・固形せっけん・練り歯磨き・歯ブラシ
- ※掃除対象物として、以下のいずれか1つを選んでください
- ・飲料水用の古いペットボトル
- ・下敷き
- ・透明クリアファイルなど

●留意点

- ・対象にはあらかじめ油性ペン・水性ペンにて汚れをつけ、乾かしておいてください
- ・事前に必ず教師にて実習しておいてください
- ・児童に体験させる場合、準備物・対象物ともに必要数準備してください



* 手順(掃除対象物:ペットボトル)

	写真	手順
導入		<ul style="list-style-type: none"> ・グループになり、各グループに固形せっけん、練り歯磨き、歯ブラシ、ペットボトルを配布する
実習 1		<ul style="list-style-type: none"> ①水で絞ったぞうきんで汚れを落とす →水性汚れは落ちるが、油性汚れは落ちない ※汚れの種類によって、同じ用具でも落とせる汚れと落とせない汚れがあることを知る
実習 2		<ul style="list-style-type: none"> ①次に、水で落ちなかった油性汚れを落とすものを探す ②グループで自由に練り歯磨き・固形石けんのどちらか一つを選択させる ③汚れを落としてみる 水で絞ったぞうきんに固形石けんをつけて数回こすったものと、水で絞ったぞうきんに薄く練り歯磨きをぬったもので汚れを落とす ※両方とも落ちるが、固形石けんと練り歯磨きのグループで仕上がりの違い(キズの有無)を確認させ、汚れを落とす対象面にも気をつけることの大切さを伝える。キズがつきやすいペットボトルが比較しやすい。
実習 3		<ul style="list-style-type: none"> ①次に、油性汚れがついたペットボトルのキャップの汚れを取る ②クラスの半分のグループを練り歯磨きをつけた歯ブラシ、半分を練り歯磨きをつけたぬれぞうきんにてキャップの汚れ取りを行う ※選択をさせてもよいが、自由に選択をさせると歯ブラシを選ぶ児童が多くなりすぎると思われる。そこで、教師の方で半分に分ける ※細かいところにある汚れは、歯ブラシのような先の細いものが効果的であることを伝える
まとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・汚れによって対象面をキズつけずに汚れを簡単に落とすには、どの洗剤と用具を使ったらよいか、学んだことを確認する



よごれに合ったそうじの方法を考えよう

	よごれの種類	よごれの落とし方	そうじ用具
ホコリ 軽いのり かさね	<ul style="list-style-type: none"> ・わたボコリ ・すなボコリ ・食べもののカス ・糸クズ 	<p>・「食べもののカス」のよごれの落とし方はどんな方法だろう？ はたく？ 吸い取る？ など、児童に問いかけながら汚れの種類に合った掃除方法・用具・洗剤があることを伝えてください。</p> <p>・1つの汚れにも掃除方法はいくつかあります（例えば手アカの掃除方法も、水拭き・洗剤を使用して拭くのが当てはまります）。汚れの程度によって掃除方法は変わってきますので、汚れがひどくないうちに掃除をすることが大切です。</p>	
表面の たまり	<ul style="list-style-type: none"> ・手アカ ・どろよごれ ・らくがき (ゆせいペン、すみ、クレヨンなど) <p>※時間がたっていないもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・せんざいを使う ・かき取る ・こする 	<ul style="list-style-type: none"> ・せんざい ・スポンジ ・ヘラ
つみ だまり	<ul style="list-style-type: none"> ・べんきに黄色くこびりついたよごれ ・水アカ ・石けんカス ・らくがき (ゆせいペン、すみ、クレヨンなど) <p>※時間がたったもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・強力せんざいやひょう白ざいを使う ・クレンザーでこすり落とす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラシ ・たわし ・スポンジ ・ぞうきん ・たい水ペーパー

・汚れがひどくなるほど、洗剤や力を入れた掃除が必要になることを伝えてください。

ひとくち アドバイス

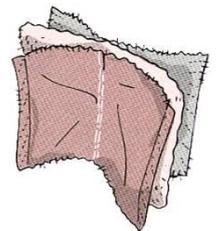
古タオルを切って 使い捨てぞうきんに

古いタオルや T シャツ、シーツなどを小さくカット。それをキッチンに置けば、汚れたときにサッとふけて、そのまま捨てられる。ティッシュペーパーの空き箱に入れておくと、取り出しやすくて便利。



ハンドタオルでぞうきん ブックをつくる

使い古しのハンドタオルがたまったら、数枚重ねて、真ん中をミシンでしっかりぬいつけ、“ぞうきんブック”をつくらう。よごれた面を本のページのようにめくって使えるので、おそうじ中に洗う回数が減らせるよ。



シャンプーを お風呂のせんざいに

毎日のお風呂そうじはお湯だけで OK。でも週に一回はせんざいをつかっておそうじしよう。かみを洗うついでにシャンプーをスポンジにつけておそうじすれば、てまもはぶけるよ。

まどガラスにはった シールをはがすには

ドライヤーであたためるとはがれるよ。のりのあとが残ったら、マニキュアのじよ光液をつかってこすり取ろう。



フローリングやつくええんぴつのらくがきは消しゴムやクレンジングクリーム(化粧を落とす)でふき取れるよ。

・授業の中で、身近なもの、不要品を利用して掃除道具をつくることも可能であることを伝えていきますので、実際に作成できる掃除道具のアドバイスを掲載しています。また、おうちの人と一緒にご活用いただけるよう、掃除アイデアも紹介しています。

授業 6 学校そうじの合格基準を作ろう

【対象：高学年】

学校をいつもきれいにするには、どうすればよいかを考え、誰もが理解できる学校掃除の合格基準を作成します。担当場所の合格基準に満たした状態をデジタルカメラで撮影し、この状態を保つためにはどのような掃除をしたらよいか、掃除の手順を自分たちで見直し、考えます。その内容は、これからの掃除時間での実践につなげます。

進行概要 <45分授業×2>

1 時間目

	min	概要
導入	5	どうしたら学校をいつもきれいすることができるかについて考えることを伝える
展開 ①	10	なぜ学校をきれいにしなければならないのかを考える 学校を「いつも」きれいにするためには何が必要かを考える
〃 ②	15	人によってきれいと思う感覚に違いがあるということに気づく 「基準」を作ることの大切さに気づく
〃 ③	10	基準は、誰もがわかるように具体的にまとめることが大切であることに気づく
まとめ	5	授業を振り返り、学校掃除の合格基準を作ることを伝える

2 時間目

	min	概要
展開 ①	15	グループで協力して合格基準を仕上げる
展開 ②	25	合格基準を発表する ・他グループの発表を聞くことで新たな視点を獲得する
まとめ	5	作成した合格基準を満たしていくことを伝える

使用教材

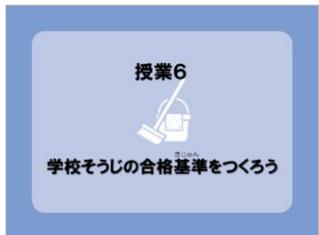
	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 (学校の合格基準をつくらう)	Microsoft® PowerPoint®	10 画面	いつもきれいにするためにはどのようにしたらよいかを学習するための教材	教師
②	ワークシート (合格基準シート)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1 枚	合格基準についてグループでまとめたワークシート	児童

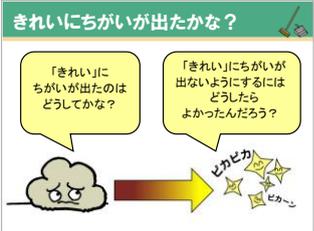
準備物

機 材 :
 ・PC(スライド教材の準備)
 ・スクリーン
 ・プロジェクター

「学校そうじの合格基準を作ろう！」 授業進行ガイド

1 時間目

	進行用スライド		流れ
導入 5分	 	ねらい 進行・教師の投げかけ	<p>●授業の見通しを持たせる ●学校の中で汚れている場所に気づく</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校(教室)はきれいだと思いますか？ どこがきれいですか？ どこが汚れていますか？ どうして汚れているのでしょうか？ <p>※事前に児童に学校はきれいだと思うか、どこがきれいではないと思うかなど、アンケートを取っておき、それを発表してもよい</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今、学校はあんまりきれいではないという人がいましたね。では、どうしたら、いつもきれいにできるのかを、今日は考えましょう。 みんなが気持ちよく勉強できる教室や学校にして、保護者の方やお客様から「この学校はいつもきれいですね」と言ってもらえるようにみんなで勉強しましょう。
展開① 10分		ねらい 進行・教師の投げかけ	<p>●なぜ学校をきれいにしなければならないのかを考える ●学校を「いつも」きれいにするためには何が必要か考える</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめに、どうして学校はきれいにしなければならないと思いますか？ <p>※みんなで使う場所(公共の場)をきれいにすることの大切さに気づかせる</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> そうですね。学校はみんなが勉強したり給食を食べたり、たくさんのお客様が来られる場所です。みんなで使う場所(公共の場)だからこそ、みんなが気持ちよく過ごせるように、学校はいつもきれいにすることが大切なのです。 <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次に、学校や教室を『いつも』きれいにするには、どうしたらいいのでしょうか？ <p>→予想される答え: 毎日掃除をする、一生懸命掃除する、掃除用具を工夫する、洗剤を使う</p> <p>※児童から出た意見を板書する</p> <ul style="list-style-type: none"> なるほど、どれも正しいと思います。他にはどんなことが考えられるでしょうか？もっとほかの意見はないですか？

	 <p>ロッカーをきれいにしてみよう</p> 	<p>ねらい</p> <p>●人によって掃除の仕上がりに違いがある(きれいの基準が違うため)ことに気づく</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『いつも』きれいとはどのようなことかをもっとわかってもらうために、これから簡単なゲームをしてみましょう。後ろのロッカーを見てください。今の状態、きれいですか？ <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> これから、2つのグループに分かれて、1分間でロッカーを今以上にきれいにしてもらいます。 <p>●ロッカークリーンアップ 1分間チャレンジ手順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ロッカーをきれいにするグループを2つ作る(Aグループ、Bグループ) 2) 残りの児童は、審判役とする 3) 1分間徹底的にきれいにしてもらう(審判はタイムマネジメント役) 4) 終了後、審判の多数決などで、A、Bどちらのグループがきれいかを定める(勝ったグループには拍手、負けたグループにもお疲れ様の拍手) <p>※ロッカーではあまり変化が見られないと思われる場合は、教室内で違いが出る場所(本棚、黒板の消し方等)でチャレンジしてもよい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>
<p>展開②</p> <p>15分</p>	 <p>きれいにちがいが出たかな？</p> <p>「きれい」にちがいが出たのはどうしてかな？</p> <p>「きれい」にちがいが出ないようにするにはどうしたらよかったんだろう？</p>  <p>きれいな基準作り</p> <p>みんながどのようにするかを決めることつまり一定の合格ラインを決めることを「基準づくり」といいます。</p> 	<p>ねらい</p> <p>●人によってきれいだと思う感覚の違いがあるということに気づく</p> <p>●「基準」を作ることの大切さに気づく</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 審判チーム、どんなことに気がつきましたか？ →予測される答え: かばんの向きが逆、ゴミが入っている、きれいに整理ができていないなど <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろなことに気づきましたね。 一生懸命きれいにしてもらいましたが、勝ち負けが決まるということは、つまり結果に違いがあるということですね。AグループとBグループとでは、みんなが指摘してくれた通り、いろいろな点で違いがありましたね。 <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ結果に違いが出たのだと思いますか？ <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> A君はかばんの向きが後ろでOK、でもB君はダメ、とか、人によって『これでOKだ、これできれいだ』と思うところが違っているので、結果に違いが出たのですね。 <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校をいつもきれいにするために、このように人による違いがあると、どうでしょうか。 <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日はきれいなのに、次の日はあまりきれいではないということがありますね。それではいつもきれいとは言えません。 <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> みんながいつも『これがきれい！』とわかるようにするためには何が必要でしょう。 <p>※グループで話し合わせ、発表させる</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなが『これならいつもきれいだ！』と思えるようにするためには、基準をつくっておくことが大切なのです。 <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ロッカークリーンアップチャレンジで、審判チームの意見に『もっとこうなっていたらよかった(実際の児童の発言を引用してください)』、『この班のここがダメだった』とありましたが、そういうことを全員できちんと決めてみんなが守る、一定の合格ラインを決めること、これが基準づくりです。 ※もし審判チームからの発言がなかった場合、この場で「ロッカーであればどうなっていたらきれいだと思う？ かばんの向きは？ 他のものはどのように入れる？ 全体的に見てどのようになっていればいいと思う？」など、発問を繰り返す <p>進行・教師の投げかけ</p>

		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●基準は、社会でも非常に重要であることを理解する</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校をいつもきれいにするために、基準をつくるのが大切だということがわかったと思いますが、これは学校だけの話ではありません。 ・日本全国にあるミスタードーナツでは、どこで買っても同じ味、同じ形です。同じ名前のドーナツが、この店は甘くて、あちらの店はちょっとしょっぱい、ということはありませんね。これは、材料や分量、温度管理、などが決まっているからなのです。 ・レストランやハンバーガーショップも同じです。人が生活していくうえで「基準をつくる」ということはとても大切なことです。
<p>展開③</p> <p>10分</p>		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●基準は、誰もがわかるように具体的にまとめることが大切であることに気づく</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準をつくるのが大切だとわかりました。先生が黒板の掃除基準をつくってみました。※スライドを読む ・この基準を読んで、みんなどんな黒板をイメージしますか？ ・では、この基準にそって先生が黒板を掃除してみます。 <p>※子供たちが指摘しやすいような掃除をする</p> <p>黒板を拭く(ただし黒板の拭き方はコの字を書いたり、ぐるぐると円を書くように消す) チョークは真ん中に立てる。汚れは少し残す、プリントはきれいに並べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の掃除は、どうでしたか？ →予想される答え <ul style="list-style-type: none"> 汚れが残っている。プリントはもっと上の方に並べた方がいい。 チョークは色をそろえておいた方がいい。 黒板の拭き方がおかしい。もっときれいに落ちる拭き方があるはず。など <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準を作っても、基準からイメージするものは、人によって違います。基準を満たすための掃除方法を決めるというのも大切です。 <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切なことは、全員が同じイメージをもつことができるように具体的な基準を作ること、誰がやってもその基準を満たすことができるようにすることです。 <ul style="list-style-type: none"> ●いつでも……………昨日やっても、今日やっても ●だれがやっても……A君がやってもBさんがやっても ●どこでも……………北海道でも九州でも <p>きれいにできるということが、『いつもきれいにしていく』には必要なことで、そのためには誰もがわかる形にまとめることが重要なのです。「この基準はこうです」とポスターのような掲示物を作って見えるようにしておくのも良いかもしれません。</p>

<p>まとめ 5分</p>	<p>いつもきれいにするために</p> 	<p>ねらい</p> <p>●活動を振り返る</p>
	<p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで使う学校を「いつも」きれいにするには、基準をつくるのが大切だということを知りました。また、いつもその基準を満たす状態にするには、基準を目に見える形にしておくことが重要であることもわかりました。 これからの授業で学校(教室)をきれいにするための基準をつくります。 <p><これからの活動の流れ> 掃除時間もしくは朝の会や学活等で、担当区域の合格・不合格の状態をグループごとに撮影する ※きれいな状態を撮影するには、掃除をする必要があることを伝える ※写真は次の授業までに教師が出力しておく</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからみんなに学校のきれいの合格基準をつくってもらいます。保護者の方やお客さまが来られたときにも『この学校はきれいだな』と思ってもらえるような基準をつくってください。

・学校そうじの合格基準を作ろう！ 進行ガイド

2時間目

進行用スライド		流れ	
展開 ① 15分	ねらい	●グループで協力して合格基準を仕上げる	
	進行・教師の投げかけ	<p><活動> ・グループに分かれ、調べたことをもとに、ワークシート(合格基準シート)にまとめる。</p> <p>【説明】 ・担当場所の合格基準を考え、写真を撮ってきてもらいました。基準は、誰もがわかるようにまとめることが大切だと、前回の授業で学びました。そこで、今日は合格基準シートをつくりましょう。掃除場所が変わった時に、他のグループの人たちが、今からつくる合格基準シートを見て掃除をします。その時に、誰もが同じようにきれいにできるように、わかりやすく、具体的に作成しましょう。</p> <p>※撮影したデータの出力を配付する。(事前に出力しておく) ※写真を貼り、合格・不合格の理由の記入をうながす</p>	
展開 ② 25分	ねらい	●他のグループの発表を聞くことで新たな視点を獲得する	
	進行・教師の投げかけ	<p><活動> ①グループごとに合格基準シートを使って発表する(1グループ約2分) ※合格基準として特に重要なところはどこか、なぜそれが重要なのかも発表させる ②聞いているグループは、発表内容に対して「適切な合格基準だと思うか」などを考える ③発表後、他のグループからの質問に答える ④クラス全体で、「この掃除場所は、今●●グループが作成した合格基準でよいか」の採決を行う。</p>	
まとめ 5分	ねらい	●作成した合格基準を満たしていくことを伝える	
	進行・教師の投げかけ	<p>【発問】 ・みんなで合格基準を作りましたが、作っただけでよいですか。どうしたらいいでしょう？</p> <p>【説明】 ・「いつも」合格になるよう、基準は満たしていかなければならないですね。作った合格基準を意識して掃除時間に掃除をしましょう。基準のレベルが高すぎて、掃除時間ではとても達成できない、反対にレベルが低すぎて、あまりきれいになっていないなど、やってみて初めて気づくこともあると思います。いつもきれいな学校だと自慢できるように、これからもみんなで協力していきましょう。</p> <p>※何回か掃除をした結果、基準を変更する場合には教師に相談をし、変更してよいことを伝える。(この場合、再度合格の写真を撮影し、合格基準シートを作り直しましょう)</p>	



小学校用 授業6 ワークシート
合格基準シート

()年()組 グループのメンバー名()

の合格基準	
こうなっていたら不合格 <写真をはろう>	こうなっていたら合格 <写真をはろう>
不合格の理由を書こう	合格の理由を書こう

- ・合格基準を満たしている写真と、満たしていない写真を貼り付けます
- ・調べてきたことをもとに、合格理由・不合格理由を誰もがわかるように明記します

授業7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう

【対象：中・高学年】

家庭や学校などの身近な掃除から、それ以外の場所の掃除やプロの掃除まで、掃除に対する児童の意識を広げます。そして、快適な生活を保つために、地域の人や掃除のプロが常に努力をしていることに気づかせ、社会での掃除の必要性を理解させます。

進行概要

	min	概要
導入	5	毎日学校で行っている掃除以外に、掃除はどこで行われているかを考え、世の中のいろいろな掃除について考えることを伝える
展開 ①	15	身の回りの掃除から視点を広げ、世の中に求められる掃除に気づく <ul style="list-style-type: none"> ・家や学校以外の自分の身の回りの掃除、地域の掃除に気づく ・世の中で求められる掃除に気づく
〃 ②	20	プロの掃除とプロの意識を知る <ul style="list-style-type: none"> ・掃除のプロの存在に気づき、掃除は世の中に求められ、重要な役割を担っていることを理解する ・掃除のプロの具体的な取り組みと意識について理解する
まとめ	5	本日の振り返り

※45分で設定していますが、アレンジにより20分程度での実施も可能です。

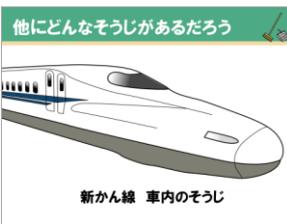
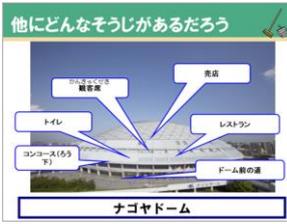
使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 (世の中にはどんな そうじがあるだろう)	Microsoft® PowerPoint®	10画面	家や学校以外の場所にも掃除をする人がいること、掃除を職業とするプロもいることを知り、快適な生活を保つためには掃除がなくてはならないものであることに気づく教材	教師

準備物

- 機 材 :
- ・PC(スライド教材の準備)
 - ・スクリーン
 - ・プロジェクター

「世の中にはどんなそうじがあるのだろう」 授業進行ガイド

	進行用スライド		流れ
<p>導入 5分</p>	 	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●授業の見通しを持つ</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家と学校以外で、掃除が必要な場所にはどんなところがありますか？ ・今から世の中のいろいろな掃除について考えていきます。
<p>展開① 15分</p>	   	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●家や学校以外の自分の身の回りの掃除、地域の掃除に気づく</p> <p>●世の中で求められる掃除に気づく</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家から学校までの道のりで掃除が必要だと思う場所はありますか？ ・誰がどのように掃除しているのでしょうか？ <p>※このスライドで使用している写真は、学校付近の写真に差し替えて使用していただくと更に効果的です</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、道路を掃除している人を見たことがありますか？ 道路にはどんな汚れがあるのでしょうか？（タバコ、空き缶、落ち葉、ガム、その他いろいろ） どうして掃除をする必要があるのでしょうか？ ・誰が掃除をしているのでしょうか？ <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミがたまると気持ち悪いし、落ち葉がたまると、滑りやすくなって危険です。 ・地域の人が協同で掃除をしたり、市町村の清掃員が清掃したりしてくれているのですね。 <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・では、新幹線にはどんな掃除があるでしょう？（車内、座席、トイレ、窓など） <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車内の掃除をしているところを見たことがある人はいますか？ <p>新幹線の掃除では、列車が駅に着いてから発車するまでの限られた時間で、全部の車両を隅々までチェックして処理を行い、シートカバーを整えてシートの向きを変えなければならないのです。これはまさに時間との戦いですね。</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お掃除をもっと世の中の大きな範囲で考えてみましょう。ここに、ナゴヤドームの写真があります。ナゴヤドームの中にはどんな掃除の場所があるでしょう？ <p>※スライドアニメーション・・・「コンコース(廊下)」「トイレ」「観客席」「売店」「レストラン」「ドームの前の道」が一括で出てくる</p> <p>【説明】ナゴヤドームひとつを見ても、こんなにも多くの場所の掃除が必要なのですね。</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロアやスタジアムには、いったいどんな汚れがあるでしょう？ （紙くず、お菓子の袋、ジュースの空き缶、ペットボトル、メガホン、紙吹雪、など） ・イベントが終って、客席やトイレを掃除しなかったらどうなるでしょう？もし掃除していない客席に自分が座ったらどう思いますか？グラウンドの芝生を掃除しなかったらどうなりますか？ （気持ち悪い、嫌な感じ、汚い、危険など） <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除をしなかったら、食べ物のカスが腐ったり、こぼれた飲み物がべたついたり臭かったり、気持ち悪く感じたり、時には危険だったりして、みんなが楽しく気持ちよく過ごしていけないですね。

<p>展開② 20分</p>	<p>プロがおそうじをしています</p>  <p>プロがプロしかできないそうじがあるかな？</p> 	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●掃除のプロの存在に気づき、掃除は世の中に求められ、重要な役割を担っていることを理解する</p> <p>【発問】 ・ナゴヤドームの掃除はお掃除の会社のスタッフ(プロ)がしています。では、どうしてプロに掃除を頼むのか考えてみましょう。</p> <p>【発問】 ・ナゴヤドームは約 4 万人も入ります。こんなにたくさんの方が入る広い場所の掃除を何人くらいで掃除していると思いますか？ドーム内にトイレはなんと男女あわせて約50箇所もあるので。</p> <p>【発問】 ・どのくらいの時間で掃除をしていますか？どんな掃除用具を使っていると思いますか？</p> <p>【説明】 ※参考 1)、2)、3)を参照</p> <p>【説明】 ・なぜプロに頼んでいるかわかりましたか？ 特別な方法や道具が必要で、限られた時間で完璧に掃除しなくてはならないイベント会場や新幹線の車内などは、とても一般の人では掃除できませんね。</p> <p>【発問】 ・プロの掃除には、他にどんな掃除があるでしょう？ (飛行機、ビルの窓ガラス、トンネルや下水管の掃除など)</p> <p>【説明】 ・飛行機は新幹線と同じように客席など機内の掃除もありますが、実は「すす」を払うのが大切だそうです。「すす」を払っておかなければ、次に飛ぶときに飛行機が「すす」の分だけ重くなって、燃料がたくさん必要になったりして、危険なのだそうです。 ・ビルの窓ガラスの清掃も、あんなに風が強く吹く高いところで、足場がグラグラしながら、窓をきれいにできるのは、掃除の専門的な技術や知識を持っている人でないとできないですね。 ・やはり世の中には掃除のプロが必要なのですね。</p>
	<p>100-1=0</p> 	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●掃除のプロの具体的な取り組みと意識について理解する</p> <p>【説明】 ・先生は、掃除の会社 ダスキンの人に、お掃除の内容やどんな意識で取り組まれているかを聞いてきました。 ※家庭向けに、家では手に負えないエアコンやお風呂などの掃除を、企業向けには、会社のカーペットやデパートのシャンデリアなどを掃除していることを簡単に紹介する</p> <p>【発問】 ・ダスキンでは、 100-1=0という考え方を大切にしていると聞きました。これはどういう意味だと思いますか？</p> <p>【説明】 ・ダスキンの掃除のプロは、身だしなみ、言葉遣い、気持ちのよい態度、確かな技術・知識のすべての要素がそろって、100点だそうです。どれか1つでも欠けていたらお客様にとって不満を残すことになるので 0点と考えなさいという意味です。掃除のプロとして一番大切なことは「お客様のことを考えて心をこめて掃除を行うこと」だと考えているそうです。</p>

<p>まとめ 5分</p>		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●授業で学んだことを振り返る</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロはたくさんの人が使う場所だからこそ、その場所を使う人たちが快適に使えるようにと考えて掃除をしていること、またそれらの掃除は本当に必要なことが分かりましたね。街や道路などいろいろな場所で、誰かが掃除をしてくれていることに、あらためて気づきました。 ・世の中には、プロでなくてはできない大事な掃除がたくさんあることがわかりましたね。今まで、掃除はめんどろだな、嫌だな、と思っていた人もいるかもしれませんが、世の中に掃除がなくなったら・・・家や学校で、誰も掃除をしなかったら・・・どうでしょう？ みなさんは、学校掃除のプロを目指して、これからも掃除してくださいね。
-------------------	---	------------------------------	---

発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう

【対象：高学年】

掃除の大切さや掃除用具の正しい使い方、手順について、他の学年に伝えることで、高学年としての自覚をうながすとともに、学校(公共の場)をきれいにしたいという気持ちを育みます。

※本授業は、ダスキン小学校用カリキュラムの授業1～授業7のいずれかの授業を実施していただいた後の発展授業として実施してください。

進行概要 <45分授業×2>

1 時間目

	min	概要
導入	5	学校全体をいつもきれいにするために、下級生にそうじの大切さや掃除方法を伝える活動をしようという意欲をもつ
展開	20	相手にわかりやすく伝えるために必要なことを考える ・教員が制作したポスターサンプルを見て、相手にわかりやすく伝えるためにはどのような工夫が必要かを考える ・伝えたい内容の企画を立てる
実習	20	グループで協力してポスターを制作する

2 時間目

	min	概要
実習	10	ポスター制作の続き、発表練習
発表	30	発表する ・どのような想いでポスターを作ったのか、相手に伝わるように発表する
まとめ	5	学習内容を振り返り、今後の学校生活に活かすように意識させる

※P.54の参考授業のように、ポスター以外で伝える方法もあります。

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	参考資料 1 (ポスターサンプル①)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1 枚	児童に制作物のイメージをわかせるためのサンプル教材	児童
②	参考資料 2 (ポスターサンプル②)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1 枚	児童に制作物のイメージをわかせるためのサンプル教材	児童
③	ワークシート (企画・発表シート)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1 枚	ポスター制作と発表する内容をまとめるシート	児童

準備物

配付資料： ・参考資料 1、参考資料 2 (グループに 1 枚でよい)
 ・ワークシート

その他： ・ポスター制作時に必要なもの(筆記用具、画用紙など)

「下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう」授業進行ガイド

本授業は、ダスキン小学校用カリキュラムの授業1～授業7のいずれかの授業を実施していただいた後の発展として実施してください。

■1 時間目(45 分)

	進行用スライド		流れ
導入 5分		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●授業の見通しを持つ ●下級生に伝えようという意欲を持つ
		進行・教師の投げかけ	<p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の掃除場所で、せっかく掃除をしたのにすぐによごれて残念な気持ちになったことのある人はいますか？ →予想される児童の発言 トイレ掃除で、掃除をしてもすぐに汚れている 階段とか廊下とか、ゴミを落としてもそのままの人がいる ・学校の中で、もっとこの場所はきれいになるのに…と思う場所がありますか？ →予想される児童の発言 ××室の前の廊下が、いつも隅の方にホコリがたまっていて気になる 玄関にいつも砂が落ちている <p>※自由に発言させる。グループで話かせてもよい。</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが一生懸命掃除をした場所が、他の人にすぐに汚されると残念な気持ちになると思います。また、もっときれいにできるのに…と思う場所もたくさんあることがわかりました。では、学校みんなに、『学校をもっときれいにしよう、きれいになったらその状態を続けよう』と伝えていくためには、どんな方法があるでしょうか。 <p>※自由に児童に発言させる。最終的には「下級生にポスターなどで伝えていく」という意見を引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校みんなに伝えていくために、ポスターを作って学校に貼りましょう。『みんなの学校をきれいにしていこう』という想いを込めたポスターを作りましょう。
展開 20分		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●相手にわかりやすく伝えるために必要なことが考えられる ●自分が伝えたいことを明確にし、どのように伝えたらよいか、計画を立てることができる ●グループで協力して活動できる
		進行・教師の投げかけ	<p>【発問】</p> <p>①相手にわかりやすく伝えるために必要なことを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに伝えていくために考えなければいけないことは何でしょうか。1年生に学校をいつもきれいにするために必要なことを伝えるには、どんなポスターが必要でしょうか。3年生の場合はどうでしょう。 <p>※自由に児童に発言させ、出てきた意見を板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> -漢字をあまり使わない -写真を大きくする -絵を入れる <p>などの意見が出るのが予測される。</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな意見が出ました。みなさんが発言してくれた通り、相手に物事を伝えるためには、その人にあった内容にすることが大切ですね。ではそれをこれから作るポスターにきちんと取り入れましょう。 <p>②サンプルを見る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生がいくつかサンプルを作っています。見てください。 <p>参考資料 1: 掃除の方法を書き、みんながきれいな状態を作れるようにした資料 参考資料 2: 黒板がこのような状態なら気持ちよくなると思うことを取り入れた資料</p>

		<p>③企画をたてる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンプルを見てイメージがわかりましたか？次に考えて欲しいのは、実際に何を伝えるかということです。学校全体をいつもきれいにするために、下級生に何を伝えなければならないか、ということを考える必要があります。「誰に」「何を」伝えるのか、しっかり考えましょう。ではグループに分かれてワークシートで企画を立てましょう。 ※ワークシートを配付する。 ・「誰に」「何を」が決まったグループは、具体的にどんな紙面にするかの下書きを描いて、必要な役割を分担する -写真を準備する(使う写真を選ぶ) -見出しや文章を考える -全体的なタイムマネジメントをする -下級生がわかりやすい内容(文章・漢字・レイアウトなど)になっているかチェックする -発表をする <p>など、グループで役割分担をして作成できるようにうながす。</p>
実習 20分	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●対象に合わせてわかりやすい制作物を作ることができる ●伝えたいことを明確にポスターで表現できる ●グループで協力して活動できる
	進行・教師の投げかけ	<p><活動> 制作する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画をした内容をもとに、グループで協力してポスターを清書しましょう。役割分担をしているので、みんなで協力して時間内に仕上げましょう。最初にみんなで考えた、下級生にわかりやすく伝えるために必要なこと、これがきちんと盛り込まれているかは必ず確認してください。つくったポスターは廊下や階段に掲示します。 ※画用紙を配付する。 ※写真を撮影する場合は、デジカメ、出力の用意をしておく

■ 2 時間目 (45 分)

	進行用スライド	流れ
実習 10分	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●対象に合わせてわかりやすい制作物をつくることができる ●グループで役割分担をして発表の練習ができる ●グループで協力して活動できる
	進行・教師の投げかけ	<p><活動></p> <p>①作成したポスターを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ全員で作ったポスターを振り返りましょう。伝えたいことを相手に伝えられるように作成できたか、工夫したところはどこかなど、みんなで話し合います。 <p>②クラスでの発表に向けて練習を行うようながす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターが完成して、グループでの話し合いも終えたグループは『下級生に伝えたい点は何か、どんなところを工夫したのか、どんなところが難しかったのか、上手くできたところはどこか』を発表できるように、練習しましょう。
発表 30分	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●どのような想いでポスターを作成したのか発表することができる ●制作したものを他のグループにわかりやすく伝えることができる
	進行・教師の投げかけ	<p><活動> 発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに「どんなことを伝えたくて作ったのか」を、ポスターを見せながら発表しましょう。 ※発表内容を明確に児童に説明させるようにする(ワークシートの「④発表しよう！」参照) ●伝えたい人はだれ？ ●伝えたいことはどんなこと？ ●ポスターを作るときに、工夫したところ、難しかったところ、よくできたところは？

まとめ 5分	ねらい	●学習してきた内容を振り返り、今後の学校生活でも活かすように意識させる
	進行・教師の投げかけ	<活動> ・感想を共有することで、学習のねらいを振り返り、クリーンリーダーとして何をしていくかを考える 学校をきれいにするために、他の学年に『どうすればいいか』を伝えることができましたか？ 大切なことはポスターを貼ったらそれで終わりではなくて、みんなが、いつも学校をきれいにできるようになることです。毎日の学校生活や、掃除時間で気づいたことがあれば、すぐに声をかけあい、自分たちもきれいにする努力をしていくことが大切です。みなさんのこれからの頑張りに期待しています。 ※作成したポスターを適した場所に掲示させる



ポスターサンプル①

児童が制作物のイメージを持てるように作成したポスターサンプルです。
主に中学年(3・4年生)を対象とした内容にしています。

こくばん 黒板そうじのプロになろう！

5年2組 黒板グループ



こんなふうになろう！

- ① ^{こな}チョークの粉のついていない^{こくばん け}黒板消しで、
^{ほうこう}同じ方向に^{こくばん}黒板をふく
- ② ^{こくばん}黒板みぞの^{こな}チョークの粉を集めて^す捨てる
- ③ ^{こくばん}ぬれたぞうきんで^{こくばん}みぞをふく
- ④ ^{こくばん け}黒板消しの^{こな}チョークの粉をとる

ポイント

きれいな黒板消しで
黒板をふくことから
はじめよう！



参考資料 2

ポスターサンプル②

児童が制作物のイメージを持てるように作成したポスターサンプルです。
掃除をする必要性などについて伝える内容です。
主に低学年(1・2年生)を対象とした内容にしています。

きれい って きも 気持ちいいね!



いつもこのしゃしんのようにいたら、

きも 気持ちいいですね

きちんとおそうじをして、きも 気持ちよくすごしましょう!

さくせい 作成：5年2組 こくばん 黒板グループ



企画・発表シート

() 年 () 組 () グループ

①みんなで考えよう！

誰に伝える？	具体的に何年生に伝えるのかを決めます
何を伝える？	学校をみんなできれいにしていくために、伝えたいことは何かを考えさせてください
ポスターのキャッチコピーを考えよう	要点をおさえ、見る人の興味・関心をひくようなキャッチコピーを考えるように伝えてください

②役割を決めよう！

例) ポスターの絵をかく、写真を用意する、発表の原稿げんこうを考える、発表する・・・など

名前	役割	名前	役割

③みんなで仕上げたポスターを振り返ろう！

ポスターを作るときに、工夫したところ、むずかしかったところ、よくできたところを話し合おう

④発表しよう！

ポスターを見せながら次のことを発表しよう

- 伝えたい人はだれ？
- 伝えたいことはどんなこと？
- ポスターを作るときに、工夫したところ、むずかしかったところ、よくできたところは？



「下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう」参考授業

授業「発展」では低学年へ伝える学習成果物をポスターだけではなく、どのような形で伝えるかを考え、コンピューターなどを活用して制作することも可能です。学習目標、学習日程に合わせてアレンジして実施してみてください。

● “伝える” ための内容と方法（参考例）

手段	使用媒体	方法
・電子紙芝居(スライド教材)	プレゼンテーションソフト	・交流学习の時間等で直接下級生に伝える ・学習発表会、朝礼時などで発表する
・壁新聞	ワープロソフト	・掲示板、廊下等に掲示する ・家庭に配布する
・掃除映像マニュアル	映像	・交流学习の時間等で直接、下級生に伝える ・学校放送で流す

● 発展授業のポイント

1. どんな方法で伝えたらいいか児童に自由に選択させる
 - ・グループで一つの意見にまとめていく
2. 選んだ方法によっていろいろな企画方法を学ばせる
 - ・何を伝えるかを考え、ストーリーボード、絵コンテなどを作成する
 - ・役割分担をする
3. リハーサルを実施させる
 - ・全体発表の前に、グループで発表のリハーサルをする
 - ・自己評価を行い、改善する
 - ・相互評価を行い、更なる改善点を明確にする